

令和 2 年度

松島町教育

松島町教育委員会

目 次

松島町の教育

1	組織	1
2	松島町教育委員会基本方針・基本施策	3
3	夫婦町・秋田県にかほ市（旧象潟町）との教育における交流	4
4	「まつしま防災学」指導計画（抜粋）	5
5	令和2年度「松島まるごと学」年間計画	7

学校教育

1	学校名と所在地	9
2	学級数及び児童，生徒，園児数，教職員調べ	10
3	松島町立幼稚園教育方針	11
4	幼稚園の概要	13
5	松島町立小中学校教育方針	16
6	小学校の概要	18
7	中学校の概要	24
8	学校給食センター	26

生涯学習

1	生涯学習教育方針	29
2	生涯学習事業計画一覧	31
3	生涯学習事業概要	32
4	町の文化財	39

生涯学習施設

1	松島町の生涯学習関係施設位置図	45
2	生涯学習施設の概況	46
3	令和元年度生涯学習施設の利用状況	53

教育関係各種委員会及び教育団体等名簿	54
--------------------	----

松 島 町 の 教 育

1 組織

(1) 教育委員会制度

教育委員会は、合議制の執行機関として法律（地方自治法第180条の5）の定めるところにより、普通地方公共団体におかなければならない委員会の一つである。

松島町教育委員会の職務は、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しながら、松島町が執行する教育に関する事務について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の定めるところにより、学校その他の教育機関を管理し、学校教育並びに社会教育その他の教育、学術及び文化に関する事務を管理し、これを執行することである。

(2) 松島町教育委員会

松島町教育委員会は教育長と4人の教育委員で構成されている（下図参照）。教育委員は、人格が高潔で教育、学術及び文化に関し、識見を有するもののうちから町長が町議会の同意を得て任命する。教育長は、人格が高潔で、教育行政に関して識見を有するもののうちから町長が議会の同意を得て任命する。

教育長は、教育委員会の会議を招集し、かつ主宰し、教育委員会を代表する。また、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどり、事務局を指揮監督する。

教育長職務代理者は、教育長が指名するもので、教育長が職務を行うことができないときや教育長が欠けたときに、教育長の職務を代行する。

教育委員会の方針や決定の下に、事務の執行は教育長が行い、具体的な事務処理は事務局が行う。



教育長
内 海 俊 行



教育長職務代理者
瀬野尾 千 恵



委員
鈴 木 康 夫



委員
佐 藤 実

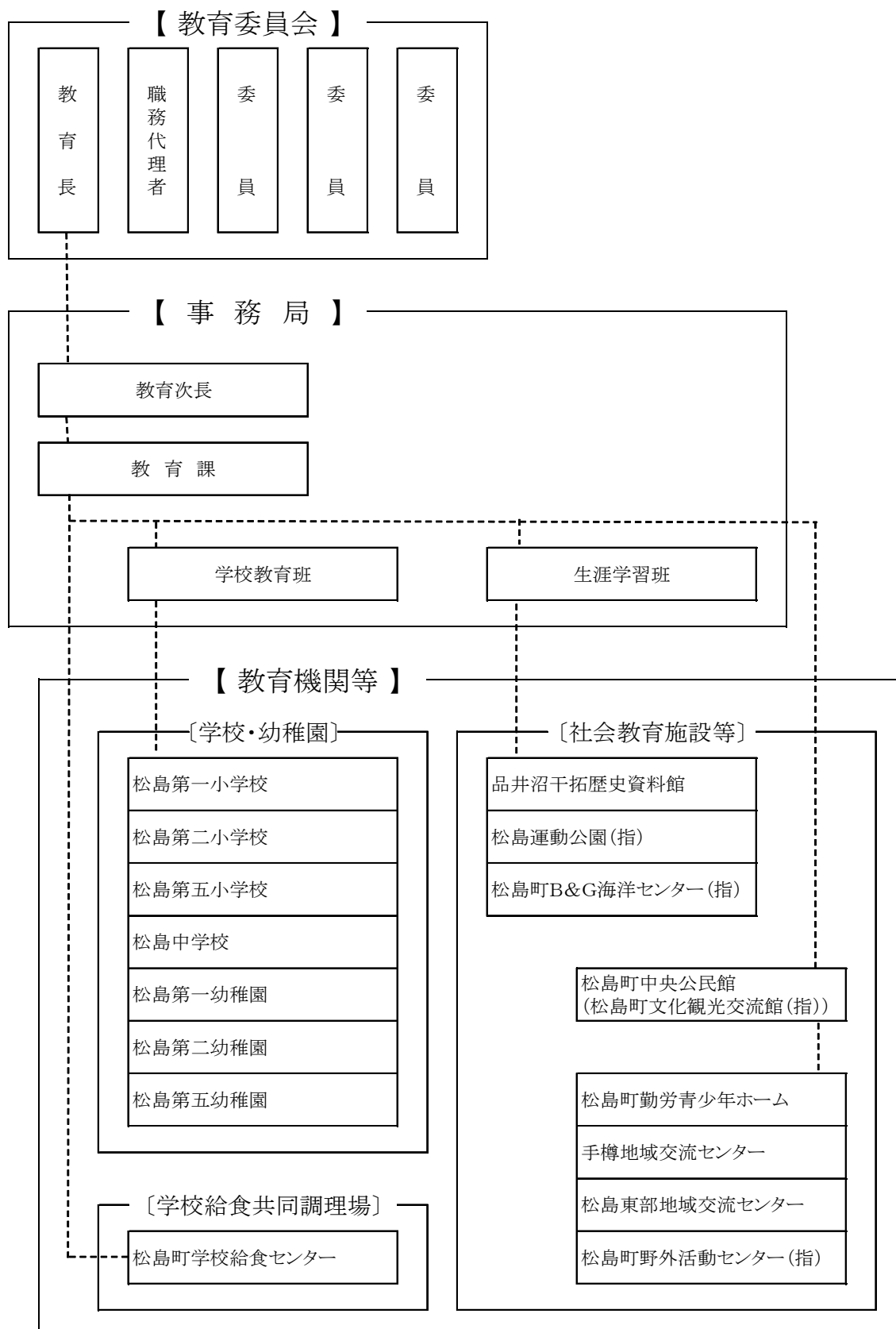


委員
安 倍 七 恵

役 職	氏 名	就任年月日	任 期
教 育 長	内 海 俊 行	平成30年 6月27日	令和 3年 6月26日
教育長職務代理者	瀬野尾 千 恵	平成30年 2月25日	令和 4年 2月24日
委 員	鈴 木 康 夫	平成28年10月 1日	令和 2年 9月30日
委 員	佐 藤 実	平成29年 6月 9日	令和 2年 9月30日
委 員	安 倍 七 恵	令和元年10月 1日	令和 5年 9月30日

(3) 教育委員会組織図

松島町教育委員会 組織図



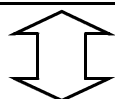
2 松島町教育委員会基本方針・基本施策

本町の今後10年間の教育の理念と指針を定めた松島町教育振興基本計画（平成25年3月策定）に基づき、町民として日々成長する望ましい姿・めざす姿を実現するために以下の教育基本方針のもと、5つの基本施策及び重点事業（平成30年3月改訂）を示し、町民の生涯学習の充実と進展を図るべく、松島の歴史と文化の継承と創造を推し進めるとともに「幼児教育・学校教育の向上」及び「地域や家庭における教育の再生と活性化」を達成する町民総参加型の教育振興を推進していく。

【松島町教育振興基本計画における本町教育のめざす姿】

『誇りと絆を育みしなやかに生きる松島人』

- 松島を愛し、一人一人が自信と誇りを持った個性豊かな松島人
- 学校・家庭・地域において学び合い、支え合う絆を大切にする松島人
- 新たな時代をしなやかに力強く生き抜く松島人



【基本方針】

「松島で生きて 松島を大切にし 豊かな心を育てる」

～品格ある松島人を志し、学び続けるために～

- 基本方針Ⅰ： 社会全体で協育し、笑顔あふれる松島人を育成する
- 基本方針Ⅱ： 学校・家庭・地域が協働し、夢と志を育み、しなやかに力強く生き抜く松島人を育成する
- 基本方針Ⅲ： 松島の豊かな教育資源に学ぶ教育活動を推進し、郷土の景観に誇りをもち、新たな文化を創造する松島人を育成する
- 基本方針Ⅳ： 生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動を推進し、健康で豊かな人生を送れる松島人を育成する



どんぐり松っちゃん

3 夫婦町・秋田県にかほ市（旧象潟町）との教育における交流

（１）夫婦町の経緯

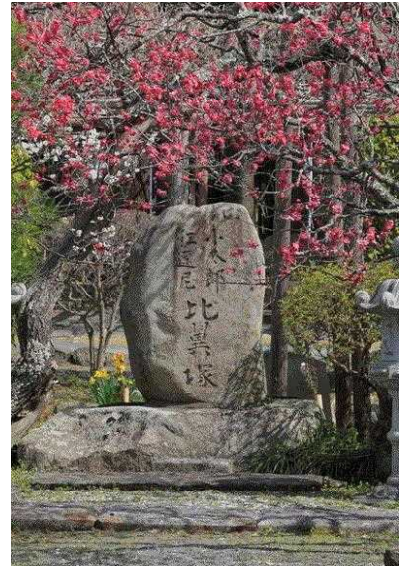
松島町とにかほ市（旧象潟町）は、俳聖松尾芭蕉の紀行文『おくのほそ道』で「倂（おもかげ）松嶋にかよいて又異なり 松嶋は笑うが如く 象潟はうらむがごとし」とつづっているように、往時から広く世に知られた対照的な絶景の地である。

また、約700年前、旧象潟町横手出身の谷（たに）が松島町のすでに他界した小太郎に嫁ぎ、その父母に孝養を尽くし、一生を小太郎に捧げた軒端の梅心月庵紅蓮尼の物語は日本女性の鑑として語り伝えられている。

こうした地理的、歴史的背景によって両市町は夫婦の如く存在し、緊密に結ばれていることから、昭和62年8月1日に「夫婦町」の盟約を交わしている。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災においては、夫婦町災害相互支援協定（平成13年8月29日締結）により本町に対していち早く救援物資や職員派遣の支援をいただくとともに、各種団体や個人からも多くの義援金が寄せられた。なお、協定は東日本大震災を経て、新たに平成24年8月6日に再締結された。

平成24年8月6日には、夫婦町の交流25周年を記念して『夫婦町締結25周年記念除幕式』、『にかほ市・松島町銀婚式』が開催された。平成29年7月7日には、『夫婦町締結30周年記念式典』が開催された。



（２）夫婦町との交流

これまで松島町とにかほ市の交流は、旧象潟町の「十日会」の活動が縁で始まり、市町議会、行政員、婦人会、青年グループ、各種スポーツ団体等多くの人々が交流を積み重ねている。

野球・サッカー・バレーボールのスポーツ少年団等における相互訪問交流や両市町のイベント交流ばかりでなく、松島町教育委員会では、教職員の指導力及び家庭における教育力の向上を目的とした、にかほ市教育委員会との交流事業も盛んに行われている。



秋田県にかほ市

4 「まつしま防災学」指導計画（抜粋）

1 「まつしま防災学」の主旨

平成23年3月11日（金）14時46分にマグニチュード9.0の観測史上最大となる東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）が発生し、松島町においても震度6弱の大きな揺れにみまわれた。この大震災により、町内で十数人の方が亡くなり、避難者はピーク時で3,719人、津波の高さは最大で3.8mに達し、特に松島海岸地区と手樽地区において被害を受けた。

松島町立学校でも、第一幼稚園と第二小学校体育館、第五小学校体育館が避難所となった。幸い児童生徒及び教職員の人的被害は無かったが、保護者を亡くした児童生徒や被災による心的ストレスを受けている児童生徒もあり、学校における継続的な対応が求められている。

災害時には、停電による連絡網・情報網の寸断、長期にわたる断水や交通網の混乱等が発生し、学校施設も大きな被害を受けた。

松島町においては、「世代継続する地震に強いまちづくり」という目標を掲げ、子どもたちに、防災・減災の基礎知識を取得させる目的から、平成17年より町内の小・中学校が共同して9年間の一貫したカリキュラムを作成し、「まつしま防災学」として防災教育を行ってきた。地区防災との協働によるコミュニティ・スクールモデル事業による防災訓練、学校における防災用品の備蓄を始めた矢先の震災であった。保護者との共通理解、様々な災害に備えた防災訓練、保護者の安全にも配慮した引き渡し等新たな課題も明らかになってきた。

地震災害等の自然災害の頻発するわが国では、今回の大震災による教訓を契機に、防災対策の見直し、国民一人一人の防災・減災に関わる教育の充実が今後一層求められている。

松島町は、すでに平成27年3月に作成している「松島町地域防災計画」や平成29年3月に国で策定した「第2次学校安全の推進に関する計画」及び平成29年11月に宮城県で策定した「みやぎ学校安全推進計画」に基づいた学校安全を推進し、松島町立小中学校が協働して9年間（幼稚園を含むと12年間カリキュラムとなる。）の一貫したカリキュラムの「まつしま防災学」をとおして、保護者や地域の協力・協働のもと災害から子どもたちの「命を守る」取り組みを推進していく。

2 幼稚園・小学校・中学校において取り組み

1) 幼稚園

(1) 目標

メインタイトル 『災害から命を守る』

幼稚園タイトル 「自分を守る」（「自助」）

- ①地震発生時、放送や保育者の指示を聞くことができる。
- ②安全に敏速に、訓練どおりの避難行動を冷静にとることができる。
- ③「おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない」を守ることができる。
- ④危ない場所や物から離れ、安全な場所に移動し、避難できる。地震や津波、火事などで町が壊滅状態になっても、数日間は自力（家族の力だけ）で生活できるようになる。
- ⑤家庭で災害時の行動を話し合い、安全への備えをする。
- ⑥津波被害が想定される場合は高台の避難場所にすみやかに避難する。
- ⑦保護者への引き渡しは、保護者の安全を確保した上で行い、最後の引き渡しまで責任をもって幼稚園で園児を保護する。
- ⑧避難計画で引き渡し場所を明記し、毎年保護者や地域の協力のもと避難訓練を実施する。

(2) 期待できる効果

- ①災害時に自分の身を守ることができる。
- ②家庭の防災意識を高揚させることができる。
- ③災害時に園児がおちついて教諭の指示のもと避難行動をとることができる。



避難訓練の様子（二幼）

2) 小学校

(1) 目標

メインタイトル 『災害から命を守る』

低学年タイトル 「自分を守る」 (「自助」)

中学年タイトル 「自分や家族を守る」 (「共助」)

高学年タイトル 「自分や家族を守り、地域の人の役に立つ」 (「公助」)

- ①地震や津波、火事の怖さを知ることができる。
- ②地震や津波、火事などが発生したときに、自分の身を守るための行動がとれる。
- ③地震や津波、火事などの被害を大きくしないために、家具の倒壊や火事の発生を未然に防ぐことができる。
- ④地震や津波、火事などで町が壊滅状態になっても、数日間は自力(家族の力だけ)で生活できる。
- ⑤地震や津波、火事などで、けがややけどをしたときには、応急処置をすることができる。

(2) 期待できる効果

- ①災害時に自分の身を守れる児童が増える。
- ②児童の話から、家族の防災意識を高揚させることができる。
- ③家具の倒壊や火事の発生などを未然に防ぐことができ、被害の規模を小さくすることができる。
- ④災害時に、自分の身を守ることでできる児童が増えることにより、救急隊がより迅速に重傷者の救助に向かうことができ、被害を小さくすることができる。
- ⑤防災に関する知識や実践力が次第に高まり広がることによって、「地域防災」へとつながり、世代を引き継ぎながら地震に強いまちづくりへとステップアップしていくことができる。



引渡訓練の様子（一小）



避難訓練の様子（二小）



消防署や消防団との体験訓練（五小）

3) 中学校

(1) 目標

災害の危険から自らの命を守り抜くため、主体的に行動する態度を育成する防災教育の推進

中学校は「地域の防災拠点」、中学生は「地域の防災戦力」となるために

「身に付け、考え、行動できる」・「やさしく」・「たくましい」生徒を育成する

①防災意識

- ・危険の予測と回避する力の育成
- ・防災の基本的知識に関する指導の充実
- ・災害時に支援者として貢献する意識を高める精神の育成

②防災管理・組織活動

- ・教職員が学校安全の中核となるための研修の推進
- ・各学校における地震・津波に係る対応マニュアルの整備と充実
- ・町の防災担当部局等との学校防災についての連携体制の構築
- ・防災に関する科学技術の活用と促進
- ・地域・家庭と連携した防災訓練等の推進 (「地域との協働」)

(2) 期待できる効果

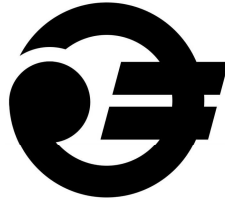
- ①中学校の実情に合わせた防災教育を検討し、学校全体の防災意識を高め、自らの命を守り抜くために「主体的に行動する態度」を育成すること
- ②将来的に地域の防災を支える人材づくりを目指した防災教育の基礎となる基本的な知識に関する指導を充実させること

5 令和2年度「松島まるごと学」年間計画

学年	小学校	1学期	2学期	3学期	共通体験等	
3 学 年	一 小	○松島探検隊(総合)67 ○松島を楽しく学ぶキャラバン隊1		○総合発表会(2月)1	※3年生については、各学校での地域学習(社会科・総合的な学習の時間)で実施する。	
	二 小	○探検ぼくらの松島(総合)25	○みんなが住みよい松島に(総合)30	・発表:3年生から2年生へ(2月下旬)		
	五 小	○菊作り(総合)20 ・芽さし ※豊年踊り(全校・運動会)1 ○たてわり仲良し会(観桜会)2	・苗植え、輪かけ ※文化観光交流祭へ出品 ○瑞巖寺見学・遊覧船乗船(社会)5	○菱取り踊りを学ぶ(総合)6 ・4年生から3年生へ		
4 学 年	一 小		●品井沼干拓学習(社会)13 ※うち6時間が見学(11月5日・6日) ○総合発表会(11月)1		『品井沼干拓学習』校外学習 ・講師(地域の方に依頼する) ・講師との顔合わせ会を開く ・見学場所の統一化 ・コースは学校ごと ・御礼(統一した形で)	
	二 小	○田中川を調べよう(総合)20 ○松島を楽しく学ぶキャラバン隊1	●品井沼干拓学習(社会)15(11月13日) 発表:4年生から3年生へ(11月下旬)			
	五 小	※豊年踊り(全校・運動会)1 ○菱取り踊りを覚えよう(総合)7 ・ゲストティーチャー ○たてわり仲良し会(観桜会)2	○菱取り踊りを覚えよう(総合)7 ●品井沼干拓学習(総合14・社会10)(11月2日)	○菱取り踊りを教えよう(総合)6 ・4年生から3年生へ		
5 学 年	一 小	●森林学習(総合)7 ・壇山・美林観察・チェーンソー体験 ○五大堂太鼓引継ぎ5	●森林学習(総合)6 ○松島の芸能(総合)20 ・五大堂太鼓	●森林学習(総合)3 ・木工体験(ものづくり) ・出前授業 ○総合発表会(3月)1	『森林学習』協力 宮城中央森林組合 ・日本三景と松 ・美林観察(壇山) ・チェーンソー体験 ・松食い虫について ・木工教室(間伐材利用)	『松島を楽しく学ぶキャラバン隊』主体 松島観光協会 ・「日本三景の日」の啓蒙活動 ・7月中に実施 ・学校の実情に合わせて、対象学年を設定。 一 小:3年生 二 小:4年生 五 小:5年生
	二 小		●森林学習(総合)20 ・壇山・美林観察・チェーンソー体験2 ●森林の働き(総合)2 ・出前授業 ○ガラス美術館見学学習(総合)3 ○松島の達人になろう(総合)20 ・出前授業 発表:五大堂太鼓(学習発表会)全校へ	●森林学習(総合)3 ・木工体験(ものづくり) ・出前授業		
	五 小	●森林学習(総合)10 ○瑞巖寺見学学習(総合)2 ※豊年踊り(全校・運動会)1 ○松島を楽しく学ぶキャラバン隊1 ○たてわり仲良し会(観桜会)2	●森林学習(総合)12 ・壇山・美林観察・チェーンソー体験	●森林学習(総合)12 ・木工体験(ものづくり) ・出前授業		
6 学 年	一 小	●松島の縄文時代について(社会)2 ・西の浜貝塚を知ろう(出前授業) ○お気に入りの風景(図工)3 ○五大堂太鼓引継ぎ6	●町内交流会(総合)2 ○見つめよう わが町松島(総合)20 ○瑞巖寺見学学習事前授業2 ●瑞巖寺見学学習(社会)2 ●座禅体験(瑞巖寺)(総合)4 ○総合発表会(9月)1		【1学期】 ●松島の縄文時代 ・西の浜貝塚を知ろう ※出前授業 ●瑞巖寺見学 ※事前出前授業 【2学期】 ●座禅体験 ・富山(大仰寺) 二 小・五 小 ・瑞巖寺(大書院) 一 小 【その他】 学校の実情に応じて、歴史めぐりや出前授業等を実施し、松島の歴史文化にふれる活動を行う。 ※生涯学習班で相談・支援を行う。	
	二 小	○松島の歴史や文化を調べよう(総合)20 ●松島の縄文時代について(社会)2 ・西の浜貝塚を知ろう(出前授業) ●瑞巖寺見学学習事前授業(総合)1 ●瑞巖寺見学学習(総合)2	●町内交流会(総合)2 ○よその町を訪ね、松島と比較しよう(総合)35 ○松島歴史めぐり6 ・五大堂・円通院・天麟院・雄島他 ・大仰寺(富山)での座禅体験を含む	発表:文化財を生かしたまちづくりを考えよう(2月下旬頃)		
	五 小	●松島の縄文時代について(社会)1 ・西の浜貝塚を知ろう(出前授業) ●瑞巖寺見学学習事前授業1 ●瑞巖寺見学学習(総合)2 ※豊年踊り(全校・運動会)1 ○たてわり仲良し会(観桜会)2	●町内交流会(総合)2 ○四大観めぐり5 ・大仰寺(富山)での座禅体験を含む ○松島歴史めぐり5 ・五大堂・円通院・天麟院・雄島他	○学んだことを発信しよう6		
松 中	1学年		○課題解決学習 テーマ「松島」(総合)20		・学芸員の活用 「職業人の話を聞く会」等	
	2学年	○キャリア教育「職業人の話を聞く会」 ※ゲストティーチャー(総合関連)	【生徒会執行部】 秋田県にかほ市中学生リーダー研修(8月予定)			
	3学年		【生徒会執行部】 秋田県にかほ市中学生リーダー研修(8月予定)			

● … 各学年で共通して行う単元・活動

～ 松島町について① ～



町章の由来（昭和38年12月16日制定）

この町章は、「まつしま」を図案化したもので、波を象り円内の部分は融和団結を表し、円外に突出した部分は鳳の翼を形どり躍進松島の姿を象徴する。

「松島」の名の由来

松島という名称のおこりには、昔から多くの伝説がある。その主なものをあげると、

- (1) 聖徳太子が仏教信奉のあまり、達磨大師がわが国に来られることを信じ、松島に来られて現在の扇谷に庵を構えて、その到来を待たれた。待つと松との母音が通ずるので、待島が松島と転化した。
- (2) 見仏上人が雄島で修行されていたころ、時の帝鳥羽天皇が、松の苗木千本を贈られて、これを慰められたので、初めは千本の松の島という意味で千松島と呼んだが後に千を略して松島と呼ぶようになった。
- (3) 源頼朝の夫人政子が、雄島で修行中の見仏上人を慰めるため姫小松千株を贈られた。それで初めは千松島といったが、後に千を略して松島と呼ぶようになった。

その他にもこれと似た伝承があり、こんな伝説からみて松島という名称は、最初は雄島に名づけられたものであったが、次第に範囲が広くなって、現在の松島の総称となったと説く人もある。

松島町民憲章（昭和58年4月1日制定）

わたくしたちは、日本三景の美しい自然と伝統ある歴史に誇りを持つ松島町の町民です。

わたくしたちは、この町を愛し力を合わせ、活力あるふるさとをつくるため、この憲章を定めます。

- 一．わたくしたちは、教養を高め体をきたえ、健康なまちをつくります。
- 一．わたくしたちは、仕事にはげみ、明るい家庭と、豊かなまちをつくります。
- 一．わたくしたちは、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- 一．わたくしたちは、互いに助けあい、心のかよう、温かいまちをつくります。
- 一．わたくしたちは、自然と教育、文化を大切にし、美しいまちをつくります。

～ 28ページにつづく ～

学 校 教 育

1 学校名と所在地

(令和2年5月1日現在)

学校名	所在地	電話番号	校長	教頭
松島第一小学校	松島字道珍浜10番地	022-354-2384	ながぬま しやういち 永 沼 昌 一	なが の たかお 永 野 孝 雄
松島第二小学校	高城字反町五14番地	022-354-2456	さとう み き こ 佐藤 美紀子	えんどう かつ み 遠 藤 克 己
松島第五小学校	幡谷字新田5番地の1	022-352-2101	わたなべ ひとし 渡 辺 仁	ち ば まさひろ 千 葉 雅 弘
松島中学校	高城字三居山一6番地の1	022-354-3309	たかはし たくや 高 橋 琢 哉	やまだ けんいち 山 田 健 一

幼稚園名	所在地	電話番号	園長
松島第一幼稚園	松島字道珍浜15番地	022-354-4005	わたなべ り か 渡 邊 理 加
松島第二幼稚園	高城字反町五14番地	022-354-2401	こん の し ほ 今 野 志 保
松島第五幼稚園	幡谷字新田5番地の1	022-352-2473	いず み み か 和 泉 実 佳



2 学級数及び児童、生徒、園児数、教職員調べ

(令和2年5月1日現在)

・学級数及び児童、生徒、園児数

学校名	1年			2年			3年			4年			5年			6年			特別支援学級			計		
	児童数		学級数	児童数		学級数	児童数		学級数	児童数		学級数	児童数		学級数	児童数		学級数	児童数		学級数	児童数		学級数
	男	女		男	女		男	女		男	女		男	女		男	女		男	女		男	女	
第一小学校	27	22	2	28	25	2	22	27	2	28	18	2	29	21	2	29	27	2	4	1	3	167	141	15
	49			53			49			46			50			56			5			308		
第二小学校	15	10	1	8	4	1	11	10	1	17	10	1	15	12	1	12	17	1	2	0	2	80	63	8
	25			12			21			27			27			29			2			143		
第五小学校	10	2	1	7	4	1	6	8	1	6	5	1	6	7	1	6	7	1	3	1	4	44	34	10
	12			11			14			11			13			13			4			78		
小学校計	52	34	4	43	33	4	39	45	4	51	33	4	50	40	4	47	51	4	9	2	9	291	238	33
	86			76			84			84			90			98			11			529		

松島中学校	39	41	3	54	39	3	52	40	3							4	2	2	149	122	11
	80			93			92									6			271		

幼稚園名	3歳児			4歳児			5歳児			計		
	園児数		学級数	園児数		学級数	園児数		学級数	園児数		学級数
	男	女		男	女		男	女		男	女	
第一幼稚園	10	3	1	7	7	1	15	7	1	32	17	3
	13			14			22			49		
第二幼稚園	5	3	1	5	6	1	10	4	1	20	13	3
	8			11			14			33		
第五幼稚園	3	3	1	4	1	1	6	0	1	13	4	3
	6			5			6			17		
幼稚園計	18	9	3	16	14	3	31	11	3	65	34	9
	27			30			42			99		

・教職員数

学校名	教員(講師含)			事務職員	養護教員	栄養職員	町費負担業務員	教育補助員	総計		
	男	女	計						男	女	計
第一小学校	7	17	24	1	1	0	1	2	9	20	29
第二小学校	7	6	13	1	1	0	1	1	8	9	17
第五小学校	7	6	13	1	1	0	1	1	8	9	17
小学校計	21	29	50	3	3	0	3	4	25	38	63

※教育補助員のうち図書司書1人は町内小学校を巡回

松島中学校	12	10	22	1	1	1	1	2	14	14	28
-------	----	----	----	---	---	---	---	---	----	----	----

※栄養職員1人は、学校給食センター勤務

幼稚園名	教員(講師含)			教育補助員	総計		
	男	女	計		男	女	計
第一幼稚園	1	3	4	2	1	5	6
第二幼稚園	0	5	5	2	0	6	6
第五幼稚園	0	4	4	2	0	6	6
幼稚園計	1	12	13	6	1	17	18

※教員5人のうち1人は高城保育所分園に勤務し、幼稚園を兼務

3 松島町立幼稚園教育方針（「松島町教育振興基本計画」に基づく）

基本施策1：幼児教育の充実

『元気でのびのびとし、表現豊かな松島っ子の土台づくり』

幼児期における目指す子ども像

- 健康で元気な笑顔あふれる子ども
- すなおで思いやりのある子ども
- 自分で考え行動し、自分を表現できる子ども

（1）元気な心と体の育成

- ①幼児の身体能力向上（体づくり運動の活用，外遊びの推奨）
- ②ALTによる国際理解教育の実施（英語教育の推進，英語遊びの実施）
- ③施設の整備と管理の充実
- ④絵本・読書教育の推進
- ⑤基本的な生活習慣・食育・むし歯予防の推進（新型コロナウイルス感染症対策の取組）
- ⑥親子の心の健康をサポートする相談体制の充実
- ⑦園外保育・自然体験学習の充実

（2）幼保小中高の連携推進

- ①幼稚園・保育所・小学校等の相互の交流事業の実施
- ②幼保合同の幼児教育の研究・開発（幼保連携したアプローチカリキュラムの実践）
- ③特別支援の早期体制づくりと連携による支援
- ④中学生・高校生等の保育ボランティア・保育体験の実施

（3）家庭の教育力向上支援 ～家庭でつくる親子の時間～

- ①親子ふれあいの推進
- ②親子のかかわりについての啓発
- ③子育て事業・育児サークルをとoshた楽しい子育ての啓発と支援
- ④幼稚園・保育所における親子行事・家庭教育と連携した事業の実施

（4）地域で支える子育ての支援

- ①保護者・祖父母・地域・ボランティア・NPO等と協働による交流型学習や子育て支援教育の連携の推進
- ②家庭教育講話や親子体験行事の実施
- ③一時保育による子育て支援の実施
- ④家庭教育の支援・園庭開放・体験入園の実施
- ⑤ごみゼロ運動や花いっぱい運動等の活動の推進
- ⑥教育活動の地域・家庭への積極的な発信（ホームページ，園だより等）

(5) まつしま防災学（幼児期）の推進

- ① まつしま防災学（幼児期）による命を守る教育の推進
- ② 幼小中や地域との協働による防災訓練・交通安全教育等の実施

付記

松島町立幼稚園 教育の指針（教育長指示 平成29年～）

- ・ 品性教育の推進 → 人とかかわりに関する領域『人間関係』
- ・ 踊育（だんいく）の推進 → 心の健康に関する領域『健康』
- ・ 英語教育の推進 → 言葉の獲得に関する領域「言葉」
- ・ 読み聞かせ教育の推進 → 言葉の獲得に関する領域「言葉」
- ・ 指先教育の推進 → 感性と表現に関する領域「表現」、身近な環境とかかわりに関する領域「環境」

町内幼稚園「統一園歌」

松島幼稚園園歌

作詞 鈴木勝郎
作曲 石川宗三郎

一
ヒヨロン とんびが
なっている
島美しく 日がのぼる
明るくなかよく
うたいましょ
松島 松島幼稚園
あら あら
お花も 咲いている

二
スイスイ かもめが
舞っている
海から 青い 山の上
明るく元気に
かけっこよ
松島 松島幼稚園
あら あら
蝶々も 飛んでいる



4 幼稚園の概要

松島町立松島第一幼稚園



〒981-0213

松島町松島字道珍浜15番地

TEL (022) 354-4005

FAX (022) 354-4005

開園記念日 7月15日



1 地域と園の実態

当園は日本三景・特別名勝「松島」の中に位置し、東北本線松島駅に近く、また仙石線・高城町駅と松島海岸駅の間にある。幼児は高城、磯崎、松島の三地区から通園をしている。付近には多数の歴史的建造物や史跡などがあり、観光客で賑わうが自然環境は比較的少ない。

幼児の多くは入園する前に乳幼児サークルや保育所の経験があり、集団生活に慣れている。元気で明るい子が多く、保護者も園に対する協力を惜しまない。

2 園の経営方針

- ・ 幼児一人一人が、安心していきいきと生活できる環境づくりの工夫や、様々な体験活動を通し、幼児が生きる力の基礎を培うための指導や援助に努める。
- ・ 幼児、教師、保護者が信頼し合い密接に連携を進め、幼児、保護者の情報を共有し教育を進める。
- ・ 幼稚園と小学校の円滑な接続を図るため計画的な幼小の連携を努める。
- ・ 五つの品性教育「1・おはようございます」「2・こんにちは」「3・さようなら」「4・ありがとうございます」「5・ごめんなさい」の指導の充実に努める。

3 重点努力目標

- ・ 幼児主体の活動を重視し、独自性、創造性の発揮が期待される教育の編成に努め、学ぶ土台作り（親子のかかわりの促進・基本的生活習慣の確立・豊かな体験活動による学びの促進・幼児教育の充実のための環境作り）を行う。
- ・ 自然に親しみ感動する心と地域を愛する心情と態度の育成に努める。
- ・ 積極的に身体を動かすための環境設定や援助に努め、心身ともに健康な幼児の育成を図る。
- ・ 安全指導と望ましい基本的生活習慣の確立の育成に努め、五つの品性教育を推進する。
- ・ 幼児、教師、保護者が信頼し合い、連携して教育を進めるとともに、一人一人の幼児に対して適切な支援や子育て支援に努める。



松島町立松島第二幼稚園



〒981-0215
松島町高城字反町五14番地
TEL (022) 354-2401
FAX (022) 354-2401
開園記念日 7月15日



1 地域と園の実態

松島の東側に位置し、東北本線愛宕駅に近い。園児は本郷、初原、上幡谷、桜渡戸、手樽、下竹谷、北小泉から通園をしている。当園は松島第二小学校に隣接し、高城保育所分園が併設している。国道45号、346号、県道仙台・松島線（通称利府街道）、三陸自動車道が縦横に走り、交通事情は頻繁で、園児の交通安全対策には万全の注意を払っている。

地域に乳幼児サークルがあり、親相互のつながりや子ども同士の交流がなされている。保護者は教育に対して関心が高く、熱心かつ協力的である。

2 園の経営方針

- ・一人一人の発達の特性に応じた教育課程の編成と日々の教育活動の充実を図る。
- ・教師の資質を高めるための園内研修の充実に努め、活力と創意工夫に満ちた園づくりに取り組む。
- ・保護者・地域との信頼を基盤に、地域とともに成長する園づくりを推進する。
- ・隣接する小学校、併設する保育所との交流を図り、協働、自立の精神を養う。

3 重点努力目標

- ・教育課程を明確にし、幼児が自ら意欲的に取り組む環境と援助のあり方を工夫する。
- ・保護者や地域社会との連携を図り、地域を愛する心情や態度の育成に努める。
- ・健康維持増進のために積極的に体を動かし、心と体を鍛える幼児の育成に努める。
- ・基本的生活習慣を身に付けさせるために、返事・挨拶・片付けの励行に努める。
- ・安全教育、防災教育の計画的な指導を通して、基本的な災害対応能力を育成する。
- ・小学校が隣接する利点を活かし、相互の連携を深めていく中で、長期的な視野をもって、幼児の主体的な学びを充実し、学校教育への円滑な接続を図る。
- ・松島町元気力向上プログラムの推進に努める。



松島町立松島第五幼稚園



〒981-0205

松島町幡谷字新田5番地の1

TEL (022) 352-2473

FAX (022) 352-2473

開園記念日 7月15日



1 地域と園の実態

松島町の北部に位置し、東北本線品井沼駅を中心に開かれた田園とゆるやかな山々に囲まれた静かな地域である。古くからの集落と新しく西部に開発された住宅地があり、生活環境に差異がみられる。

吉田川や元禄潜穴、明治潜穴などでも知られ、童謡「どんぐりころころ」の作詞者・青木存義の生誕の地としても有名である。

当園は松島第五小学校に隣接しており、保育活動、幼小連携、その他恵まれた環境にある。

2 園の経営方針

- ・ 幼児が生き生きと生活できる環境作りを工夫し、一人一人の発達の特性にに応じ指導や援助に努める。
- ・ 様々な活動に意欲的に取り組み、自己を発揮しながらみんなで仲良く遊べる幼児を育てる。
- ・ いろいろな体験活動を通し、幼児が生きる力の基礎を培うための指導や援助に努める。
- ・ 小学校との円滑な接続ができるように、「アプローチカリキュラム」の推進に努める。
- ・ 保育改善や幼児理解についての研修を充実し、実践的な指導力の向上を目指す。

3 重点努力目標

- ・ 幼児が安心していきいきと生活できる環境づくりを工夫し、一人一人の発達の特性にに応じた指導、援助に努める。
- ・ 様々な体験活動を通し、幼児が生きる力の基礎を培うための指導や援助に努める。
- ・ 教師、保護者が信頼し合い、連携して教育を進めるとともに、関係諸機関と連携を密にし、一人一人の幼児に対して適切な支援や子育て支援に努める。
- ・ 小学校との連携、接続を図り、発達上の課題を共有し、幼児期の教育のつながりを意識した指導、援助に努める。
- ・ 幼児理解についての研修や適切な評価を行い、実践的な指導力の向上及び園経営の改善向上に努める。



5 松島町立小中学校教育方針（「松島町教育振興基本計画」に基づく）

基本施策2：学校教育の充実

『未来の松島を担う、夢と志をもち、誇りと自信に満ちた児童生徒の育成』

育みたい児童生徒の姿

- 松島に学び、松島を誇りに思い、松島の未来を担おうとする気概をもつ人間
- 国際化、情報化など変化の激しい時代を心豊かにたくましく生きる人間
- 正義と良識を重んじ、支え合い共に生きようとする人間

（1）一人一人の児童生徒への確かな学力の保証

①個に応じたきめ細かな指導による確かな学力の保証

- ・学習指導体制（少人数指導、習熟度に応じた指導、T・T※、教科担任制、通級指導）の充実
- ・全国学力・学習状況調査と町統一学力テストを活かした指導の充実
- ・特別支援教育の充実（幼小中の特別支援教育の連携推進）

②家庭学習の習慣化

- ・家庭との協働による家庭学習習慣の浸透
- ・家庭における読書活動の推進
- ・自学自習の学びの場づくりの支援

③教職員研修の充実

- ・学力向上推進体制の整備（地域の教育力の組織化と適切な指導体制等の調整）
※松島町教育研究会・学力向上推進委員会との協働による学力向上プランの策定
- ・秋田県にかほ市との教育研修交流
- ・校内研究の指導・支援の体制整備
- ・県指定による「小中連携英語教育推進事業」の展開（町内小中学校2年間指定）

（2）夢と感動のある学校づくり

①児童生徒が主体となり、協力と達成の喜びを体験できる教育活動の創造と支援

②郷土松島を素材とする歴史文化教育と豊かな自然に学ぶ教育の工夫と実践

③異校種間の特徴を生かし、教職員相互の資質向上を目指す小中交流授業の推進

④未来を志向した学校諸施設の充実とICT等の教育設備の充実（GIGAスクール構想の推進）

- ・プログラミング教育による論理的思考力や、創造性、問題解決能力等の育成

⑤世界とつながる機会と体験を提供する国際理解教育の推進

- ・松島町グローバル人材育成を目標とした外国語指導助手（ALT）学校派遣や松島こども英語ガイド事業、宮城国際化協会（MIA）事業等による国際感覚の醸成

⑥言語力と発表力等コミュニケーション能力や創造力が育つ学校全体の環境づくり

⑦県内外の諸学校との交流活動の推進

⑧教育活動の地域・家庭への積極的な発信（ホームページ、学校だより、学級だより等）

⑨地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）の推進

⑩地域学校協働本部と学校が連携・協働した地域学校協働活動の充実

（3）心身ともに健全な児童生徒の育成

①全町での不登校ゼロの取組の推進

- ・いじめ防止対策基本方針の徹底及び連携体制・重大事案における体制整備
- ・児童生徒への定期的なアンケート実施等による実態把握と共通理解による早期対応
- ・心のケアハウス事業実施による不登校児童生徒の家庭とのコミュニケーション強化と相談体制の確保

- ・認め励まし合いながら、思いやりと信頼関係を育む取組の推進
- ・一人一人を大切にする生徒指導の推進
- ②子どもたちの安心・安全を守る取組の推進
 - ・いじめ・虐待・不登校・学校不適応・非行・自殺等予防・心のケアなど
- ③体力の向上や健康増進に向けた方策の推進（新型コロナウイルス感染症対策の取組）
 - ・体力づくり運動，体力テストの活用，体育施設等の整備，むし歯予防の取組，正しい生活習慣・食習慣の育成
- ④学校・家庭・地域が一体となった品性豊かな調和のとれた子育て活動の推進
 - ・あいさつ運動，道徳教育，伝統文化教育，読書活動の推進，親子のふれ合い活動の推進
- ⑤幼保小中高の連携の推進

（４）松島の歴史と文化を学ぶ活動の充実

- ①総合的な学習の時間の充実
 - ・義務教育9年間を見通した郷土松島を素材とする「松島まるごと学」（歴史文化教育カリキュラム）の実践，地域及び学校間連携の推進
- ②キャリア教育，志教育の推進
 - ・松島町内での職場体験学習の推進
- ③国際交流，地域間交流の推進
 - ・秋田県にかほ市との生徒間交流とICTを活用した国際交流

（５）まつしま防災学の強化

- ①「自助」「共助」「公助」を基軸に据えた「まつしま防災学」の推進
- ②地域との協働した防災教育の実施
- ③安全な教育環境の整備と防災体制の整備

付記

松島町立小中学校 学習指導の指針（教育長指示 平成27年～）

「授業は授けるのではない。鍛錬し育てる場である。」

- ・明確な目標を持たせ，授業を展開する。
- ・話し合い活動を積極的に取り入れる。
- ・ノートを活用した授業を進め，評価する。
- ・子どもの良さを認め，褒める。
- ・授業と一体となった宿題で家庭学習を習慣づける。

※T・T(ティーム・ティーチング)とは，複数の教員が役割を分担し，協力し合いながら指導計画を立て，指導する方式のことです。

6 小学校の概要

松島町立松島第一小学校



〒981-0213
松島町松島字道珍浜10番地
TEL (022) 354-2384
FAX (022) 353-3464
開校記念日 7月15日



1 学区、学校の概要

本校は、日本三景「松島」の中心に位置し、学区内には瑞巖寺や五大堂などの由緒ある建築物や、芭蕉の句碑などの史跡が数多く所在する。学区は、観光中心の松島地区、商業中心の高城地区、農漁業・住宅地地域の磯崎地区に分かれている。保護者の職業は多彩であり、教育に対する関心は高く、学校運営に協力的である。

本校は明治6年の開校で、校名の改称、分校の統廃合等を経て現在に至っている。現在の校舎は、昭和48年に完成したもので、平成11、12年度に耐震補強工事を含む大規模改修工事が行われた。

平成23年3月11日の東日本大震災により、校庭への津波の浸水と校舎の損傷があったが、同年11月に新体育館が完成し、翌平成24年には、校舎災害復旧工事も完了した。体力づくり推進校、福祉ボランティア学習推進協力校、小学校教科担任制モデル事業校、豊かな心を育む研究指定校事業としての研究成果は伝統として受け継がれている。平成28年度から宮城県教育委員会の「豊かな心を育む研究指定校事業」を受け、「特別な教科道徳」の研究に取り組んできた。令和元年度からは、宮城県教育委員会の「小中連携英語教育推進事業」の指定を受け、小中が連携した教育について、外国語・外国語活動を中心に研究に取り組んでいる。

2 学校経営の概要

(1) 基本方針

関係法規並びに「第2期宮城県教育振興基本計画」、「仙台教育事務所管内生涯学習推進の基本方針」及び「松島町教育方針（松島町指導力向上プログラム等）」に則り、また児童や地域の実態に応じた教育課題を的確に捉え、以下の基本方針で経営にあたる。

一人一人の特性を生かし“松島第一小学校の児童としての誇り”と“ふるさと松島を愛する心”を持ち、健康で活力と創造性に富む人間性豊かな児童の育成を目指す

(2) 教育目標

『学び合い（知）認め合い（徳）高め合う（体）児童の育成』

①目指す児童像

- 自ら学ぶ子
・よく考えて、進んで取り組み、解決できる子供
- 思いやる子
・友達の気持ちを考えて行動できる子供
- たくましい子
・心も体も健康で、自分の身は自分で守る子供

②目指す学校像

- 子供が「楽しく過ごし、明日も行くのが楽しみな」学校
- 保護者が「安心して子供を通わせることができる」学校

○地域から「信頼され、愛され、協力される」学校

○教師が「子供と共に躍動する」学校

③目指す教師像

○子供と共に歩み、心を耕す教師

- ・分かる授業づくりと学ぶ楽しさを教えることに努める教師
- ・常に研修に努め、指導力の向上を目指す教師
- ・人間的な魅力と教員としての専門性を持つ教師
- ・児童や保護者、地域の人々から信頼を得られるように努める教師
- ・高い“志”と倫理観を持ち、高め合い、心身共に健康で協働し合う教師集団

(3) 重点努力目標

- ①松島町教育委員会の「指導力向上プログラム」を中心に据えた授業展開を行い、基礎・基本を重視した、児童一人一人の確かな学力の保証に努める
- ②思いやりの心を育て、豊かな人間関係を醸成する生徒指導の推進
- ③安全教育・安全管理の推進
- ④特別支援教育の充実
- ⑤コミュニケーションづくりによる信頼関係の構築
- ⑥夢や希望に向かって努力する力を養う「志教育」の推進

松島町立松島第一小学校校歌

作詞 萱場 柔寿郎
作曲 今野 こまつ

一 世界に名高き松島こそは

世界にまたなき眺め

みどりの松かげ

波まにうかび

真白き帆かげに

とぶかもめ

二

望みは高き大鷹森

知識ははるけし太平洋

つとめよ はげめよ

われ人ともに

学びの道に

いそしまん



松島町立松島第二小学校



〒981-0215
松島町高城字反町五14番地
TEL (022) 354-2456
FAX (022) 353-2935
開校記念日：5月1日



1 学区、学校の概要

学区は、松島町の中央部に位置し、広さは町の7割に及ぶ。また、国道45号、346号、三陸自動車道、そしてJR東北本線、JR仙石線が走り、交通の要衝を占めている。

学区内は、自然環境に恵まれ、学校南側の田中川では生物の観察ができるなど、児童が自然に触れ合える学習素材も豊富である。

本校は、昭和24年4月1日に旧松島小学校より分離し、松島第二小学校として創立された。また、平成3年に現在地に新校舎が完成し、平成19年度に松島第三小学校、松島第四小学校と統合を行い、現在に至る。広い多目的ホールやプレイルームもあり、全校児童から小集団まで多様な学習形態に対応した展開が可能である。

令和2年度は、松島学習指導方針をこれまで以上に大切にし、授業や家庭学習の充実に努め、学力向上に努める。また、発達障害や愛着障害の児童の学びや成長のために、「通級指導教室」の環境を整備し、保護者と一層の連携を図る。

2 学校経営の概要

(1) 教育目標

『社会の一員としての自覚を持ち、自ら学び、思いやりがあり、健康で人間性豊かな児童の育成』
～規律ある環境での価値ある時間と空間の創出～

(2) 教育方針

- ① 環境変化への対応 (Environment)
 - ・環境変化（デジタル化、グローバル化、地球環境問題、働き方改革等）の的確な把握と変化への迅速な対応
 - ・国際社会に通じる「個」の育成
 - ・環境負荷の少ない組織づくり
- ② 社会 (Society)
 - ・安全・安心で「いじめ」を生まない土壌づくり
 - ・児童が主体的に学び合う「学校文化」を醸成
 - ・社会へ開かれたカリキュラムづくりと提案
- ③ 学校統治 (Governance)
 - ・コミュニティ・スクールを活用した提案型、課題解決型の学校運営の推進
 - ・学校運営協議会及びPTAによるチェック機能の構築と活用
 - ・組織としての支援・指導力の向上

◎目指す児童像

- 〈自学〉「かしこく」自ら進んで学び、自分の考えを発表する学び続ける子供
- 〈共生〉「やさしく」自他を知り、自他を大切にする子供
- 〈健康〉「たくましく」最後まで粘り強くやり抜く、新たなことに挑戦する子供

(3) 学校経営の重点

① 真剣に学ぶ学校文化の醸成

- 学びに向かう環境づくりに努める。(児童が分かる楽しい、もっとやってみたいと思える授業の展開)
- 児童の学力向上対策を検討・実施する。(松島町学力検査の結果分析、基礎・基本の確実な習得)

② コミュニティ・スクールの本格導入

- 地域やPTAとの熟議を通して学校課題の解決に取り組む。(学力、学校行事、いじめ・不登校の事案等)
- 積極的な情報共有・公開を行う。

③ 働き方改革の推進

- 学校行事の見直しを図る。(児童の実態、伸びや成長を考えた行事の精選と実践)
- 思い切った業務改善等を検討・実施する。(同僚制を生かした業務の効率化、互いに支え合う職場づくり)

④ グローカル教育の推進(志教育との関連)

- 国際社会に通じるリーダー育成を視野に入れて取り組む。(松島こども英語ガイド等への参加の奨励)
- 「松島まると学」の取組の充実を図る。(松島を知り、松島を誇りに思い、松島の将来に夢を持たせる。)

⑤ ICT教育の推進

- 授業におけるデジタル機器の積極的活用、プログラミング教育の実践。
- 家庭環境におけるネット利用の推奨。(みやぎの家庭学習支援サイト等の積極的な活用)

3 現職教育

(1) 校内研究

「コミュニケーション能力の育成」(2年目/2年次)

～小・中学校の学びの連続性を意識した指導の在り方～

(2) 生徒指導に関する研修

- 児童理解研修 ○ 生徒指導事例研修 ○ いじめ対策・不登校支援研修
- 発達障害・愛着障害研修

三
つらぬくまことの
ゆく道はるけく
さわやかに
かがやけ
松島第二小学校

二
光もあかるく
希望のうたごえ
たからかに
かがやけ
松島第二小学校

一
みどりの松島
空青く
いのちのよろこび
燃えあがる
きよらかに
かがやけ
松島第二小学校

松島町立松島第二小学校校歌
作詞 岡本 盛
作曲 高澤 新三郎



松島町立松島第五小学校



〒981-0205
松島町幡谷字新田5番地の1
TEL (022) 352-2101
FAX (022) 352-2109
開校記念日 7月15日



1 学区、学校の概要

学区は松島の北端にあり、周りの丘陵地から小川が流れ、里山に恵まれた自然豊かな田園地帯である。南と東は松島丘陵地に囲まれ、北と西は品井沼が開墾された水田地帯で、大崎市鹿島台と黒川郡大郷町に隣接している。

学区北側には改修された吉田川が西から横切り、その下を潜るサイフォンにより、鶴田川が高城川と穴川に注ぎ南に流れている。かつて北部に広がっていた品井沼は、旧志田・黒川・宮城郡にまたがる大きな沼で、当学区にも広がっていた。江戸時代元禄期と明治時代に潜穴（トンネル）によって排水する干拓工事が行われ、また、近年の河川改修により見事な水田地帯となっている。その干拓の歴史を物語る遺跡は学区内に多く点在している。

学区は幡谷（428世帯、1257人：令和2年4月1日現在）、上竹谷（113世帯、325人：同）の二つの地区からなる。児童のおよそ5割が学校北側（幡谷地区内）に造成されたくぬぎ台団地（102世帯、336人：同）から通っている。JR東北本線が学区中央に品井沼駅を置いて南北に貫くほか、国道346号が西側を走っており、交通の便は比較的良好なところである。

地域の人々や保護者は「地域の学校」との意識が強く、学校に対してとても協力的である。また、校地は日本の愛唱歌「どんぐりころころ」の作詞者である青木存義氏の生誕地である。「どんぐりころころ」をはじめ、郷土の遺産を後世に受け継いでいこうという姿勢が強く見られ、地域学習に良い影響を与えている。

2 学校教育目標

学ぶ意欲と豊かな心を持ち 健やかでたくましい子供の育成

＜目指す子供像＞

- | | |
|--------------------|-----|
| (1) よく考え自ら学ぼうとする子供 | 【知】 |
| (2) 明るく思いやりのある子供 | 【徳】 |
| (3) しなやかでたくましい子供 | 【体】 |

3 学校の経営概要

憲法の精神と教育基本法及び学校教育法に基づき、第2期宮城県教育振興基本計画、仙台教育事務所管内生涯学習の基本方針、松島町教育方針（教育振興基本計画）に従い、保護者や地域社会との連携のもと、全教職員の熱意と指導力を結集して、豊かな人間性、社会性や基礎的な学力の涵養に努め、次の世代に貢献できる心やさしく、たくましく活躍する児童の育成を目指した学校経営を推進する。また、児童の変容を促すため行動論的アプローチを意識して用いる。

4 学校教育を達成するための重点施策

- (1) 適切な指導計画の編成によって、「主体的に取り組む態度」「基礎的な知識・技能」「課題解決のために必要な思考力、判断力、表現力等」を育成し、一人一人を生かす学習指導の充実を図る。
- (2) 自分の考えを深め、自らの成長を実感できるような指導法の工夫を行うことにより、道徳教育・情操教育の充実を図る。
- (3) 一人一人を大切にする生徒指導を推進するとともに、いじめ、不登校等の問題に対しては早期発見・即時、組織的な対応を行う。
- (4) 健康安全教育を推進し、体力向上や食に関する指導を充実させる。
- (5) 家庭や地域との連携、防災教育・防犯計画の充実等により、児童が安心して生活できる学校づくりを進める。

- (6) よりよい人間関係づくりに努めるとともに、児童の自発的、自治的活動を推進する。
- (7) 教育的ニーズに基づいた「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、特別支援教育の充実を図るとともに、本人や保護者のニーズに合わせた「合理的な配慮」に努める。
- (8) 校内研究での実績を日々の授業づくりに生かし、指導法の工夫改善、年間指導計画の見直しなどを図る中で、教師の力量の向上に努める。
- (9) 学校からの積極的な情報発信と学校評価の推進により、情報の共有化に努め、社会に開かれた教育課程を編成し、地域の伝統を生かした各学年の教育活動の充実を図る。
- (10) 各教科、領域の学習活動において人とのかかわりを大切にするとともに、委員会活動や当番活動等において、自らの責任をはたすことの大切さを自覚させるなど、自立する力や望ましい勤労観をはぐくむ中で志教育を推進する。
- (11) コミュニティ・スクールとして地域と連携し、隣接する第五幼稚園との行事、唱歌に親しむ活動等の特色ある学校づくりを推進する。

5 特色ある教育活動等

◇ふるさと教育活動の推進（地域の人材「松五小おでって隊」の積極的な活用）

- ・みどりの少年団活動の推進（総合的な学習：5年生の檀山体験や木工体験）
- ・郷土の偉人である、「どんぐりころころ」の作詞者：青木存義氏の業績を調べる学習及び「どんぐりころころ」を歌い継ぐ活動
- ・花壇（花作り）、さつまいも作り、菊作りなどの畑作活動
- ・地域住民との連携による郷土芸能等の活動（品井沼太鼓、すずめ踊り、菱取り踊り、品井沼豊年踊り）

◇学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を活用した学校づくりの推進

◇第五幼稚園（隣接）との協働行事（防災安全関係）や交流の連携強化

松島町立松島第五小学校校歌

作詞 山本 正
作曲 佐藤 長助

一 名にし負う 松島の北
往復する 汽笛の響き
生氣あふるる この里に
めぐみゆたかに 生き生きと
集い楽しく 学ぶ幸

二 吉田川 うるおすところ
品井沼 干拓なりて
力合わせて 実となりし
みのりゆたかに はるばると
稲の穂波に 香る風

三 若竹の たわめぬ心
すこやかに 伸び行く生命
行くてはるかに 光あり
のぞみゆたかに すくすくと
文化の基 育くまん



7 中学校の概要

松島町立松島中学校



〒981-0215
松島町高城字三居山一6番地の1
TEL (022) 354-3309
FAX (022) 353-3474
開校記念日 4月16日



I 学区、学校の概要

松島町の中央部に位置する本校は、町内唯一の中学校であり、多くの町民にとって共通の思い出をもつ母校となっている。それゆえ、地域住民の本校に対する関心は高く、協力体制は強固である。

生徒は町内3つの小学校から入学し、徒歩・自転車・JR・バスなど様々な手段で通学している。元気の挨拶と先輩・後輩、男女の仲の良さなど好ましい校風が根付いている。卒業後は、地元の松島高校をはじめ、県内の高等学校に進学している。

活発な部活動は本校の大きな特色・伝統であり、運動部は東北・全国大会に出場を果たしている種目も多く、町民が世代を超えて交流する大切な場となっている。

東日本大震災では大きな被害を受け、伝統ある体育館（講堂）が全壊し撤去されたが、校舎や体育館の改修・新築が進み、学習環境が整っている。

II 学校経営の概要

1 学校教育目標

「心豊かで、自ら学び、たくましく生きぬく生徒の育成」
【遠き理想】【高き希望】【明き真理】【深き友愛】

ふるさと松島町を愛し、松島中学校生徒としての誇りを持ち、一人一人の自主性・創造性を培うとともに、徳育、知育、体育の充実に取り組み、人間性豊かで、現在及び将来にわたって、仲間と協働し学ぶ喜びを持ち、自他ともにたくましく『生きぬく生徒』の育成に努める。

(1) 目指す学校像「行きたくなる学校」を目指して

- ①日本一の「さわやかなあいさつ」と「笑顔」あふれる学校
- ②生徒一人一人の「確かな学びと成長」を保障する学校
- ③地域や保護者と共に歩む、信頼される学校

(2) 目指す生徒像

- ①思いやりと感謝の心を大切にする生徒
 - ・ 明るいあいさつができる生徒
 - ・ 進んで奉仕できる生徒
 - ・ 互いに認め合うことができる生徒
 - ・ 親や地域に感謝することができる生徒
- ②自ら学ぶ生徒
 - ・ 学習意欲の継続、学習課題の解決に向かう生徒
 - ・ 仲間と協働して学びに向かう生徒
 - ・ 互いに認め合うことができる生徒
 - ・ 学んだことを生かし表現する生徒
- ③健やかな心と体を大切にする生徒
 - ・ 自ら生活習慣をつくり出せる生徒
 - ・ 最後まで粘り強くやりとおす生徒
 - ・ 素直に感動する心をもつ生徒
 - ・ 進んで心と体を鍛える生徒



【まつしま防災学・小学校訪問】

2 学校経営方針

第2期宮城県教育振興基本計画及び松島町教育方針を受け、本校生徒と地域の実態及び教訓である「遠き理想」「高き希望」「明き真理」「深き友愛」を踏まえ、よりよい校風の確立を目指して学校経営に当たる。

教育の成果を高め、地域や保護者の期待に応える信頼される学校とするため、教育目標「心豊かで、自ら学び、たくましく生きぬく生徒の育成」の具現化に向け、学校課題を明確にし、教職員の共通理解のもと、家庭・地域と連携を深めることを通して、教育活動を展開する。

そのためにも、教職員間の情報共有、共通行動を確実にを行い、次代を担う心豊かな生徒の育成に努める。さらには、世代の教育現場を担うであろうミドル（ネオ）リーダーの育成に努める。

3 学校教育目標を達成するための重点施策

学校運営協議会から学校経営についてのご意見をいただくとともに、家庭からの信頼のもと、自信を持って取り組む教職員集団という意識の高揚を図ることを大切にしながら、以下の重点を設定する。

(1) 心の教育の充実

- ①夢と感動があり、協働と達成の喜びの体験
- ②考え議論する視点の強化
- ③新たな不登校を生まない絆づくり・居場所づくり
- ④関係機関との連携

(2) 学ぶ力の育成

- ①主体性を意識した指導改善
- ②生徒の実態に即した指導、個に応じた指導
- ③「なぜ」を大切にした授業設計
- ④小・中・高連携英語の推進
(コミュニケーション力育成)

(3) 特別支援教育の推進

- ①個に応じた支援強化
- ②就学指導体制の整備
- ③専門的知見の導入

(4) 志教育の推進

- ①道徳・特別活動等での意識化
- ②キャリア教育等体験活動の推進
- ③将来の自分の追求

(5) 防災教育の推進

- ①自分の身は自分で守る意識、余裕があれば弱者に手を貸す配慮
- ②まつしま防災学の充実



【運動会・応援合戦】

松島町立松島中学校校歌

作詞 扇畑 忠雄
作曲 佐藤 長助

一
波のかがやく入海に
松青き島命あり
幸ゆたかなる漁り船
潮の光に遠き理想に
われら三年の春秋を
学ばん若き一筋に

二
沼を汲みほすいそしみに
撓まぬ力誇りあり
地平の霞む広き里
土の香りに高き希望に
われら三年の春秋を
進まん強き一筋に

三
丘を越えゆく古き國
みなぎる流れひびきあり
ここに育ちてたくましく
空の眞澄に明き真理に
われら三年の春秋を
努めん清き一筋に

8 学校給食センター

1 学校給食運営方針

(1) 学校給食の目的

学校給食は、栄養バランスの取れた食事の提供により、成長期にある児童生徒の健康の保持増進と体位の向上に寄与し、子どもの頃から生活の基礎・基本を養い、望ましい食習慣の確立をねらいとする。

また、食事の時間を児童生徒や先生とのふれあいの場として、豊かな人間関係を作り、共同作業を通じて勤労の大切さや協調、感謝の心を養うことを目的とする。

(2) 栄養管理の充実

献立は、栄養・嗜好・経費・衛生・地域性・調理能力等を総合的に考慮し、国の「学校給食摂取基準」に基づいた栄養量を確保すると共に、献立の研究・調理方法の工夫をしながら学校給食の充実に努める。

(3) 食育の推進等

栄養士による食生活の大切さや食事のマナーなどを伝える食育指導を実施する。また、生産者や食生活推進員等との交流事業を行うことで食への関心を高め、地場産物や地域の食文化、自然の恩恵に対する理解を推進する。

学校給食を通して、食のあり方や食をめぐる地域環境などに関心をもつ取組を行う。



(4) 環境衛生対策（新型コロナウイルス感染症対策の取組）

「学校給食衛生管理基準」を遵守し、適切な衛生管理に努めることで、学校給食の安全性を確保する。

- ①手洗いの励行 ②感染症予防の保菌検査（腸内細菌検査・ノロウイルス抗原検査）
- ③健康観察 ④食品の衛生管理 ⑤施設の環境整備

(5) 安全対策

調理員の調理従事中の安全確認、機械器具等の取扱いの指導徹底を行う。

(6) 関係機関

①学校給食センター運営審議会

学校長、保護者の代表、学校医、団体等の代表等で構成（委員10名）される審議会（1回／年）で、センターの状況を報告し、適切な学校給食のあり方などについて議論する。

②学校給食担当者会議

各学校の給食主任と学校給食センターが給食に関わる意見交換や連絡調整を行う。（2回／年）

(7) アレルギー等対応

アレルギー疾患の園児や児童生徒への対応として、保護者からの届出により、給食の全部又は一部の停止等を行っている。

また、アレルゲン食材については、希望する方に、成分を記載した詳細献立表を配付している。

(8) 民間委託

松島町では、調理業務等を民間へ外部委託し、学校給食センターの経費削減及び効率的運営を実施している。

2 学校給食実施状況

(1) 年間給食実施予定回数と給食費の額

区 分	年間給食実施 予定回数 (基準)	1 食の単価	年 額	月 額	
				4月分～翌年1月分	2月分
幼稚園	1 6 5 回	2 6 0 円	42,900円	4,000円×10回	2,900円
小学校	1 8 5 回	2 8 0 円	51,800円	4,700円×10回	4,800円
中学校	1 6 5 回	3 3 0 円	54,450円	5,000円×10回	4,450円

※給食実施予定回数は、各学校の年間行事計画により学校・学年毎に異なります。
年間の給食費は、1食当の単価×給食回数となります。



～ 松島町について② ～

位置、地勢

【位置：東経 141° 04′ 北緯 38° 22′
面積：53.56 km²】

松島町は、宮城郡の東端に位置し、東は東松島市、西は宮城郡利府町・黒川郡大郷町、南は松島湾、北は大崎市・遠田郡美里町に隣接し、政令都市仙台市と工業都市石巻市のほぼ中間にある。鉄道は、町域を東西に横断する仙石線、南北に縦断する東北本線がある。道路は国道45号・同346号、主要地方道仙台松島線・大和松島線・奥松島松島公園線・仙台松島道路（三陸自動車道）などがあり、交通の要所となっている。

町面積は53.56km²（国土地理院の編製の計測方法変更により平成26年10月1日より変更）で、平成22年5月に仙塩広域都市計画区域に編入されている。

町土の約50％は松島丘陵の森林であり、眺望・景観のよさで昔から景勝地として知られ、また、日本三景・特別名勝松島として有名であり、東北観光の拠点となっている。



沿革

万葉の昔から風光明媚で知られ、日本三景の一つに称される松島町は、宮城県の中央部に位置し、松島湾に浮かぶ大小260余の島々を包含する町である。松島の緑を添えた島々は、長い年月の波浪浸食、風化作用によって四季を通じてそれぞれ異なった景観を呈する自然美と、数多くの歴史的、学術的にも価値の高い文化遺産が残されている。明治35年に「県立自然公園」、大正12年には国の「名勝」に、昭和27年に国の「特別名勝」にも指定されており、その美しいたたずまいは俳聖松尾芭蕉も絶賛した屈指の景勝地である。

本町は、古くから多くの人びとが居住していたことは、国指定史跡の西の浜貝塚に代表される町内各地域に散在する遺跡が示すとおりで、縄文時代より土器による製塩が行われていた地域でもあった。

近世に至っては伊達氏の領地となり、品井沼干拓工事が行われるなど、低湿地や湖沼・海浜地の埋め立てにより農地の開発整備が進んだ。明治4年に仙台藩を廃して仙台県として郡及び町村の呼称を改めた結果、大小区制となり、第2大区、小13区と称された。明治22年県令で従来の連合村であった松島村、高城村、本郷村、磯崎村、手樽村、北小泉村、竹谷村、幡谷村、根廻村、初原村、桜渡戸村をもって松島村とする旨の公布があり、その後昭和3年に町制の施行で現在に至っている。

町の産業基盤は観光、農業、漁業、商業で、とりわけ年間300万人近い観光客が来遊する観光産業は、国宝瑞巖寺や国重要文化財の五大堂など数々の歴史的建造物を有することから、現在これらの保全を優先しつつ、多様な観光需要に対応可能な高い機能を有する国際観光都市を目指した取組が進められている。

生涯學習

1 生涯学習教育方針（「松島町教育振興基本計画」に基づく）

基本施策3：地域文化の継承と創造

『歴史と文化を継承し，文化遺産の保護と活用を図った教育の推進』

（1）歴史と文化と地域を学ぶ学習の推進

- ①地域との協働によるふるさと体験型教育の推進
- ②ふるさと松島の探究と新たな魅力の発見・発掘への取組
 - ・「松島まるごと学」の実践と充実
 - ・歴史資料等の調査や地域の埋もれた史跡の再発見及び調査成果活用の促進
- ③地域の魅力ある文化・伝統の伝承保存と内外への情報発信
 - ・日本遺産の周知と関連文化財群のさらなる活用
- ④特別名勝松島の景観及び歴史文化遺産の保全

基本施策4：生涯学習の推進

『協働による家庭教育，地域活動の推進』

（1）地域で支える家庭教育の推進

- ①公民館・分館事業における協働による地域活動の推進
 - ・各分館活動を中心とする地域活動の活性化
 - ・地域の伝承，史跡を知る研修活動
- ②自主サークル活動の発足と運営への支援
 - ・社会教育関係団体登録制度の導入に向けた検討
- ③地域に根ざした世代間交流や青少年健全育成活動への取組支援
 - ・ジュニア・リーダー育成と活動推進，にかほ市中学生とのリーダー交流
- ④心の通い合う「家庭づくり」の啓発と子育て支援の推進
- ⑤地域における子どもの社会性を育成する取組の実施
 - ・地域教育資源の発掘と情報の発信
 - ・放課後子ども教室の充実
- ⑥地域の協働による地域交流センター活用支援
- ⑦コミュニティ・スクールと連動した地域学校協働活動の推進組織の充実

（2）芸術文化活動の充実促進

- ①音楽や芸能等の芸術鑑賞，自主的な芸術活動の推進
 - ・民間のもつ技術や知識などを活用した文化観光交流館を拠点とする文化発信事業の実施
- ②公民館主催講座・教室の充実
- ③芸術文化展や演奏会などの開催
- ④自主サークルの学習活動への支援
- ⑤社会教育施設の整備と運用の充実
- ⑥図書室機能の充実と読書活動の推進
 - ・ボランティアによる読み聞かせや巡回図書活動の推進

(3) 国際感覚を培う生涯学習

- ①歴史・文化・景観をテーマとする異文化圏との交流活動の企画
- ②日本遺産など歴史や文化の国内外への情報発信と交流活動の推進
- ③児童生徒の国際交流や地域間交流の企画と実践

基本施策5：町民総スポーツの推進

『スポーツをとoshita町民の活力と地域の活性化』

(1) スポーツをとoshita地域・世代間交流の推進

- ①分館活動等地域の協働による身近なスポーツの普及推進
 - ・町民ふれあいスポーツ大会の開催
- ②スポーツによる他市町村との交流の企画・支援
- ③秋田県にかほ市等との各種スポーツ交流の推進

(2) 体力づくりの推進

- ①子どもの体力・運動能力向上の推進
- ②体力づくり推進の地域コーディネーターやボランティアの育成
- ③スポーツ施設の効果的な活用推進による町民の健康増進

(3) 観るスポーツの推進

- ①レベルの高いスポーツ大会の開催・招致
- ②一流アスリートの招致によるスポーツ教室の開催
- ③東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けた啓発

(4) スポーツをとoshita心と体の健康

- ①高齢者向けスポーツ教室の検討及び実施
- ②ウォーキング等推進のための環境づくりの推進
- ③障がい者向けスポーツ教室の検討及び実施

町花・町木（平成15年4月1日制定）

町花「セッコク」



町木「松」



2 生涯学習事業計画一覧

項目	生涯学習班	中央公民館 (文化観光交流館・地域交流センター・勤労青少年ホーム)	文化観光交流館		B&G海洋センター (NP0法人マリソル松島スポーツクラブ)	運動公園 (NP0法人マリソル松島スポーツクラブ)	温水プール「美遊」 (セントラルスポーツ株式会社)
			(株) B B I	(NP0法人) ウィザス			
(1) 「生涯学習社会」構築への啓発	・「松島の教育」の発行、広報「まつしま」、町HP、Facebook等への掲載 ・生涯学習各種講座募集	・広報「まつしま」への掲載 ・公民館教室・講座受講生募集 ・ホームページの活用	・広報「まつしま」への掲載 ・独自のチラシ配布 ・ホームページの活用	・広報「まつしま」への掲載	・広報「まつしま」への掲載 ・独自のチラシ配布 ・ホームページの活用	・広報「まつしま」への掲載 ・独自のチラシ配布 ・ホームページの活用	・広報「まつしま」への掲載 ・独自のチラシ配布 ・ホームページの活用
(2) 民間指導者の養成及び発掘養成講座・派遣事業							・水泳指導講習 ・介護予防運動指導員養成講座 ・AED・心肺蘇生法講習
(3) 生涯学習の充実・歴史・文化教育	・歴史・文化財出前講座 ・「松島まるごと学」の推進 ・「歴史文化基本構想」の周知 ・放課後子ども教室						
・青少年教育	・こころ・はぐくみ隊 ・縄文土器づくり ・ジュニア・リーダー育成事業 ・ジュニア・リーダー初級研修会	・親子工作教室 ・家族ふれあい料理教室	・ナチュラルスイーツ教室 ・しめ縄飾り教室 ・こぎん刺し教室	・森のわんぱくキャンプ	・巡回教室（からだづくり運動・水慣れ教室） ・B&Gチャレンジ ・防災教室	・キッズサッカースクール ・テニススクール ・幼稚園・保育所巡回事業 ・バドミントンスクール	・児童スイミングスクール ・児童体育スクール ・児童短期水泳教室 ・着衣水泳教室
・成人教育		・和綴じ本を作ろう ・紙粘土人形づくり ・つまみ細工を作ろう ・そば作り教室 ・陶芸体験教室 ・手作り教室				・テニス教室 ・水中運動教室	・成人フィットネス ○フルタイム会員 (10:00～21:00) (7:8月9:00～21:00) ○ナイト会員 (17:00～21:00)
・高齢者教育				・秋の手煮大会	・各地区スポーツ大会への活動支援及び講演会 ・太極拳教室 ・吹き矢教室 ・医学セミナー	・スポーツ体験教室 ・水中運動教室 ・太極拳教室	・いきいき健康教室 ・介護予防運動教室 ・転倒予防教室 ・口腔機能向上プログラム
・イベント大会	・松島湾三町文化財展 ・松島れきし再発見講座	・町民ふれあいスポーツ大会 ・成人式	・アトレ・る まつり ・アトレ・る ワークショップDAY	・松島の四季写真コンテスト ・写真クラブ発表会	・B&G宮城マリンスポーツフェスティバル ・B&G宮城ウィンタースポーツフェスティバル ・バドミントン大会 ・ベタンク大会 ・ゲートボール大会	・マリンカップ ・小学生サッカー大会 ・中学生サッカー大会 ・シニアサッカー大会 ・町民テニス交流大会 ・グラウンド・ゴルフ大会 ・中学1～2年生バドミントン大会	
(4) 地域活動の充実	・子ども会育成連合会事業 ・青少年健全育成活動 ・協働教育の推進 ・ニュースポーツ普及推進活動	・地域交流センター事業 ・分館活動 ・分館長移動研修会			・指導者会活動		
・社会教育団体の育成と補助	・女性団体連絡協議会 ・青少年健全育成松島町民会議 ・子ども会育成連合会 ・松島町婦人会 ・松島町PTA連合会 ・小・中・高生徒指導連絡協議会 ・松島町体育協会						
(5) 芸術文化の振興・芸術鑑賞の機会提供	・宮城県巡回小劇場	・文化観光交流まつり ・松島子どもアート広場	・二人会 ・アトレ・る のど自慢大会	・写真クラブ発表会			
・文化芸術団体の育成と補助	・松島町芸術文化協会 ・ジョイントコンサート事業						
・文化財保護体制の充実	・指定文化財管理指導 ・特別名勝松島現状変更申請 ・埋蔵文化財包蔵地発掘届提出に関する調整						
・文化財の保護と愛護	・品井沼干拓資料館管理 ・文化財防火デー消防演習 ・発掘調査・出土遺物整理 ・西の浜貝塚史跡公園管理 ・元禄潜穴管理 ・文化財バトロール事業						
(6) 社会教育行政職員の充実・生涯教育行政推進整備	・社会教育委員 ・文化財保護委員 ・スポーツ推進委員						
・社会教育行政職員の資質向上	・社会教育課長会議 ・社会教育委員研修会 ・社会教育担当者研修会 ・協働教育研修会 ・社会教育主事研修会 ・生涯スポーツ担当者研修会 ・スポーツ推進委員研修会 ・文化財担当者研修会	・公民館長・職員研修会			・B&G海洋センター連絡協議会研修事業		
(7) 社会教育施設の充実	・品井沼干拓資料館 ・西の浜貝塚史跡公園 ・B&G海洋センター（体育館、屋外多目的運動場） ・松島運動公園（野球場、テニスコート、多目的運動広場、温水プール） ・町民グラウンド	・文化観光交流館 ・地域交流センター ・勤労青少年ホーム		・町民の森センター ・ロジ ・円形広場 ・炊事棟・キャンプ場			

3 生涯学習事業概要 ～人と人，こころとこころのコミュニケーションネットワーク～

(1) 生涯学習班

名 称	内 容 ・ 目 的 等	対 象	時 期	備 考
生涯学習情報案内	「松島の教育」発行と「広報まつしま」や町ホームページ、Facebook等に生涯学習情報を掲載(生涯学習班・文化観光交流館・スポーツ振興センター・野外活動センター・勤労青少年ホーム・地域交流センター)してお知らせします。	一般	通年	
「松島まるごと学」の推進	平成26年度に作成されたカリキュラムを基に、町内の学校全てに統一的な形で、松島の歴史文化を学ぶ場を提供します。	小学生 ～ 中学生	通年	
宮城県巡回小劇場	情操教育の一つとして町内の小学生に薰り高い芸術の鑑賞機会を設け、子どもたちの豊かな心を育みます。	小学生	9月29日	
ジュニア・リーダー初級研修会	子ども会活動の活性化をめざし、子ども会の直接的な指導にあたる地域のリーダーを育成します。	小学6年 ～ 中学生	3月20日 21日	
ジュニア・リーダー育成事業	子ども会の直接的な指導にあたるジュニア・リーダーの資質向上を図り、知識・技術・態度を養います。(二市三町の合同事業、中級・上級研修会への派遣、自主研修等)	中学生 ～ 高校生	通年	
中学生リーダー研修会の実施 (夫婦町交流事業)	夫婦町秋田県にかほ市の各中学校とのリーダー研修会を実施し、リーダーとしての知識や活動を体験させるとともに、相互の交流を深めます。	中学生	8月5日 6日	今年度 松島町で 開催
こころ・はぐくみ隊	文化的遊びや創作を通じて、仲間集団における友人関係を築いたり、異年齢の友人と交流したりすることにより青少年の社会性を育み、思いやり、我慢強さ、責任感などの情操を高めます。	小学校 (低学年)	9月 ～ 12月 全4回	
放課後子ども教室	放課後等に子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちの文化・スポーツ活動、地域住民との交流活動等を実施することにより、子どもたちが地域の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。	小学生	5月 ～ 3月	
縄文土器づくり	子どもたちが様々な実体験を通して、地域のことや自然の中で必要な知識を学びます。 夏休みを利用して行うことで、普段とは違う親子や家族とのふれあいも期待できます。	小学生 親子	8月22日 9月12日	二市 三町 共催 事業
松島れきし再発見講座	松島の歴史や文化財について、専門家を講師に招いた公開講座や町歩きなどを実施して周知普及を図ります。また、イベントを通じて「松島町歴史文化基本構想」の周知を図ります。	一般	年2回	

歴史・文化財出前講座	松島の歴史や文化財について、学校や団体の要請に応じて、出前方式の講座を行います。	一般	通年	
文化財展示	松島町の歴史や文化財に関する展示を企画し、観瀾亭松島博物館・役場庁舎町民スペース・春日PA文化財展示室において実施します。 また、利府町・七ヶ浜町と連携して各町の所蔵資料を相互貸借・展示する「松島湾三町文化財展」を企画し、松島湾の歴史について情報発信を行います。	一般	通年	

(2) 中央公民館

○成人教育事業

名 称	内 容 ・ 目 的 等	対 象	時 期	備 考
和綴じ本を作ろう	日本古来の製本法を学習し、オリジナル手帳や手持ち資料綴りに役立ちます。	一般 10人	未定	
紙粘土人形づくり	自分だけの人形を作成し、和裁を生かした本物の着物を着用し、リアリティのある人形を作ります。	一般 10人	未定	
つまみ細工を作ろう	オリジナルのつまみ細工を作ります。	一般 10人	未定	

○子ども芸術事業

名 称	内 容 ・ 目 的 等	対 象	時 期
まつしま子どもアート広場	自由なテーマで児童に絵画作品を募集し、文化祭の時期に展示します。	町内小学生 幼稚園児 保育所幼児	展示期間： 11月2日 3日

○大会・行事

名 称	内 容	対 象	時 期
町民ふれあいスポーツ大会	スポーツを通して、分館相互の親睦を深めると共にスポーツの楽しさを味わいます。	町民	6月7日 (1年延期)
文化観光交流まつり	サークル等の日頃の活動成果を一堂に会し、展示や舞台発表を行い、町民の芸術文化の発展向上を図ります。	町民一般 個人・団体	10月31日 11月 1日
松島町成人式	新成人の門出を祝います。	新成人：H12.4. 2～H13.4.1生	令和3年1月10日

(3) 文化観光交流館【指定管理者（事業実施者）：(株)BBI】

自主事業名	内 容 ・ 目 的 等	対象	時期	料金	使用施設
アトレ・るワーク ショップDAY	交流館を全館無料開放します。 ワークショップ開催者を募集して、 色々な体験をしていただきます。	子供～ 一般	5月5日 (中止)	無料	全館
アトレ・るまつり	ミニSL・フリーマーケット、模 擬店など子どもにも楽しめるイベ ントを通して町民の交流を図ります。	子供～ 一般	未定	有料	全館・ 駐車場
アトレ・る のど自慢大会	子供から年配の方まで参加出来る カラオケ大会で、日頃のストレス 発散と町民の交流を図ります。	子供～ 一般	11月29日	有料	全館
二人会	六華亭遊花&ゲストを迎えて新 春の初笑いを届けます。	子供～ 一般	1月17日	有料	全館

ミニ講座	内 容 ・ 目 的 等	対象	時期	料金	使用施設
ナチュラルスイーツ 教室	白糖，小麦粉，卵なしでガトー ショコラを作ります。	子供～ 一般	6月28日	材料費	会議室・ 調理室
しめ縄飾り教室	ドライフラワーでお洒落なしめ 縄飾りを作ります。	子供～ 一般	11月15日	材料費	会議室
こぎん刺し教室	津軽地方の伝統工芸，繊細で幾 何学模様の魅力あふれる小物を作 ります。	一般	2月	材料費	会議室

(4) 松島東部地域交流センター

名 称	内 容 ・ 目 的 等	対象	時期	備考
陶芸体験教室	世界でひとつだけの焼き物を作ります。	一般 15人	中止	(共催) いちょう の会
そば作り教室	そばの打ち方を体験し，出来上がったそば を試食します。	一般 15人	未定	(共催) いちょう の会
手作り教室 (クリスマスお楽しみ 料理)	クリスマス料理を手作りします。	一般 10人	未定	(共催) いちょう の会

(5) 手樽地域交流センター

名 称	内 容 ・ 目 的 等	対象	時期	備考
親子工作教室	親子で力を合わせてオリジナルの作品を作 ります。	親子 10組	未定	全1回

(6) 勤労青少年ホーム

名 称	内 容 ・ 目 的 等	対 象	時 期	備 考
家族ふれあい親子 クリスマスパン教室	親子で力を合わせてトースターでパンを作ります。	小学生の 親子8組	未定	

(7) 野外活動センター【指定管理者（事業実施者）：NPO法人ウイザス】

名 称	内 容 ・ 目 的 等	対 象	時 期	備 考
松島の四季写真 コンテスト	松島の四季をテーマに風景、風物、催しなどの写真を全国から募集。松島の魅力を再発見してもらいます。	一般	4月 ～ 翌年2月	
写真クラブ発表会	日頃の活動の成果を展示・発表します。	会員町民	11月上旬	
森のわんぱく キャンプ	児童の自主性を尊重し、子ども主体の宿泊体験。ツリークライミングや植林体験を通じて松島の自然と歴史を学びます。	小学3年生 ～ 小学6年生	7月	貸衣装 [°]
秋の芋煮大会	紅葉を楽しみながら芋煮を食べます。	一般	10月	

(8) B&G海洋センター【指定管理者（事業実施者）：NPO法人マリソル松島スポーツクラブ】

名 称	内 容 ・ 目 的 等	対 象	時 期
B&G宮城 マリンスポーツ フェスティバル	宮城県内の各海洋センターから小学生が集い、カヌーやローボートの体験、水辺の安全教育等を行い、海洋性スポーツの普及を図るとともに水辺で安全に活動するための知識と技能を学びます。	小学4年生 ～ 小学6年生	7月31日
B&G宮城 ウィンタースポーツ フェスティバル	宮城県内の各海洋センターから小学生が集い、雪遊びを通じて、参加者相互の交流と冬の運動不足の解消を図ります。	小学4年生 ～ 小学6年生	2月6日
B&Gチャレンジ	身近なものでできるチャレンジ遊びを行います。	小学生	年1回
カヌー体験教室	温水プールを使用し、カヌー体験を実施します。	子供～ 一般	年1回
防災教室	防災訓練も兼ねた各種目により防災運動会を実施し、防災紙芝居により防災について学びます。	小学生	年1回
指導者会活動	B&G事業協力、地域貢献活動、実技研修、リーダー研修等を行います。	会員	随時
巡回教室	基本的な運動とボール遊びや鬼ごっこなどの運動遊びを通じて、体を動かすことの楽しさを教えながら、子どもたちの運動習慣へのきっかけづくりと体力・運動能力の向上を図ります。また、プールでの水慣れ教室や水辺の安全教室を行い、未就学児が楽しく安全に水に親しむ機会をつくります。	幼稚園児・ 保育所幼児	6月 ～ 2月

太極拳教室	一般社会人から高齢者世代に合わせて、日ごろ運動不足で汗をかくことや体を動かすことが少ない方々が少しでも元気で明るく・楽しく・いつまでも健康であることを願い、呼吸のリズムに合わせた無理のないそれぞれに合った運動場所を提供します。	一般	月2回／通年
未就学児リズム教室	子どもたちに運動の楽しさ、体を動かし汗を流す爽快感をエアロビクスダンスと軽運動などのリズムを使って体験してもらいます。	未就学児	2回／通年
吹き矢教室	精神力、集中力の向上と、吹き矢を通じて様々な世代と交流し仲間づくりを目的として開催します。誰でも、いつでも、どこでも手軽に楽しみながら、スポーツ吹き矢競技にもとづいた呼吸法により、健康増進を図ります。	一般	通年
医学セミナー	町内のスポーツ少年団や保護者、一般の方やスポーツ人口が年々増加している高齢者や障害者の方を対象に、スポーツトレーナー等による運動前のストレッチやケガの予防と、体幹トレーニング等について指導研修を行います。	一般	年1回
ペタンク大会	松島町ペタンク協会の協力をもらい、広く町内外に広報し多くの方に参加してもらい参加者の交流を図り、身近にできる競技スポーツの楽しさを普及します。	一般	年1回
ゲートボール大会	ゲートボール競技人口の支援を目的とし、一年を通じて楽しく、元気で、誰でも参加できる環境づくりを支援し、その一助として大会を開催します。	一般	年1回
施設紹介	インターネットを活用し、町民のみならず広く体育館・屋外多目的運動場・町民グラウンド等の施設を紹介し、観光地松島の地の利を活かし、観光業にも貢献できる施設としてPRし、施設の利用度を高める活動を随時実施します。	一般	適時

(9) 松島運動公園・温水プール「美遊」【指定管理者（事業実施者）：セントラルスポーツ株式会社】

名 称	内 容 ・ 目 的 等	対 象	時 期
①児童スイミング・ 体育スクール ②児童短期水泳教室 ③いきいき健康教室 ④着衣水泳教室	スポーツを通し自主性・社会性及び創造性が向上するように支援し、礼儀作法やマナーに関する目標を掲げながら社会性の習得を促していきます。また、心と身体の健康な発育を目指すと共に、より広い世界で活躍できる可能性も育みます。	児童・成人	①週1～2回 ②春期・夏期 ③週1回 ④夏期
①フルタイム会員 (10:00～21:00) (7・8月9:00～21:00) ②ナイト会員 (17:00～21:00)	水泳の指導はもとより、水の特性を生かした水中ウォーキングレッスンや水中エアロビクス、目的別の各種ヨガ、ダンス、エアロビクスなどの人気プログラムも数多く実施し、生涯スポーツの普及に努めます。	成人	①各月 ②各月
①介護予防運動教室 ②転倒予防教室 ③口腔機能向上 プログラム	リハビリや高齢者のトレーニングなど、専門のトレーナーが目的や体力レベルに応じたトレーニング法をアドバイスします。科学的に効果が立証されている運動を中心に、転倒予防・口腔機能向上・低栄養改善・尿失禁予防の講話等を楽しみながら継続的にを行います。	シルバー	①6月～3月 ②未定 ③未定
①水泳指導員講習 ②介護予防運動 指導員養成講座 ③AED・心肺蘇生法 講習	地域スポーツの拠点として、「次世代を担う有能な人材育成」を目的に青少年の健全育成や生活習慣病の予防、高齢者には、介護予防・体力づくりに取り組むきっかけを作り幅広いスポーツ振興に努めます。 また、地域スポーツの発展と振興を目的に、スポーツ少年団やスポーツNPOの指導者等を対象とした各種講習会を企画します。	指導者向け	①不定期 ②不定期 ③不定期

(10) 松島運動公園・多目的運動広場ほか【指定管理者（事業実施者）：NPO法人マリソル松島スポーツクラブ】

名 称	内 容 ・ 目 的 等	対 象	時 期
キッズサッカー スクール	サッカーに興味を持っている子どもたちにボール遊びを通じた指導を行います。また、スクールを通して団体活動に必要な規律や協調性を育みます。	未就学児	毎週土曜日 ／通年
テニススクール	テニスボール（硬式ボール）やラケットに慣れることから始まり、基本動作に至るまで指導を行います。また、スクールを通して団体活動に必要な規律や協調性を育みます。	未就学児 ～ 小学生	毎週土曜日 ／通年
テニス教室	初心者・初級者・中級者・上級者の各クラスに分け、ショットの精度やゲームでの駆け引きなどを身に付けさせるための指導を行います。	成人	クラス別 (週1回 1クール8週 7回)
幼稚園・保育所巡回 指導 (スポーツ支援1)	運動の楽しさ、体を動かし汗を流す爽快感を体験するためにボール遊びや軽運動を行います。	未就学児	5回／年

太極拳教室	ゆっくりとした動作と呼吸法で、元気で明るく、楽しく、健康維持を図ります。	一般	3回／月 (第1・2・3 木曜日)
水中運動教室	足腰などの関節に負担が少ない水中で楽しく運動し、安全で効果的に健康づくりを行います。	一般 高齢者	毎週金曜日 ／通年
松島町心の震災復興 サッカー大会 (ジュニア)	選手の技術を磨きあいながら交流を深め、豊かな人間性の育成に努めます。県内外の36チームでの開催で町内の宿泊施設を利用して実施します。	小学生	1回／年
松島町心の震災復興 サッカー大会 (ジュニアユース)	選手の技術を磨きあいながら交流を深め、豊かな人間性の育成に努めます。県内外の24チームでの開催で町内の宿泊施設を利用して実施します。	中学生	1回／年
シニアサッカー大会	生涯スポーツの推進と出場者相互の交流を図ります。県内外の14チームでの開催で町内の宿泊施設を利用して実施します。	シニア	1回／年
心の震災復興・ 障がい者就労支援 GG大会	参加者相互の交流と障害者スポーツ支援・健康維持・増進、グラウンドゴルフの普及を図ります。	一般	2回／年 (6月・9月)
スポーツ体験教室 (スポーツ支援2)	スポーツを通して、新しい仲間作りと体を動かすことの楽しさを体験します。幼稚園、保育所巡回運動教室。	未就学児(年長) ・小学1～2年生	1回／年
バドミントン スクール	初心者の基本動作から競技志向のレベルアップまで、目的や能力に応じた指導を行います。	小学生 ～ 中学生	毎週水曜日 ／通年
バドミントン大会	部活動やジュニアクラブ等に在籍する二市三町の中学1～2年生を対象に大会を実施し、出場選手同士の交流と競技のレベル向上を図ります。	中学1～2年生	1回／年
マリンカップ 硬式テニス交流会	町内のテニス愛好会グループの協力を得て、中高年者を対象とした交流大会を実施します。	一般	1回／年
施設紹介	インターネットを活用し、旅行者等に対してもテニスコートやグラウンドゴルフ場が整備されている事をPRするなど、施設の周知を図るため、広報事業を展開します。	一般	適時

4 町の文化財

種別・指定別文化財件数

(令和2年4月1日現在)

種 別		国	県	町	計
有形文化財	建築物	7	3	11	21
	絵画	2	6	24	32
	彫刻	1	1	20	22
	工芸品	1	3	15	19
	書跡・典籍・古文書	1		12	13
記念物	史跡	1		7	8
	名勝	1			1
	天然記念物		1	11	12
合 計		14	14	100	128



平成の大修理を終えた瑞巖寺本堂

指 定 別 文 化 財 一 覧 表

I 国 指 定

No.	種 別	名 称	員数	所 有 者	指 定 年 月 日
1	有形文化財 建造物	国宝・瑞巖寺本堂（附属御成玄関）	1棟	瑞 巖 寺	S28・3・31
2	” ”	国宝・瑞巖寺庫裏及び廊下	2棟	”	S34・6・27
3	” ”	重 文 ・ 瑞 巖 寺 御 成 門	1棟	”	S31・6・28
4	” ”	重 文 ・ 瑞 巖 寺 中 門	1棟	”	S31・6・28
5	” ”	重 文 ・ 瑞 巖 寺 五 大 堂	1棟	”	S37・6・21
6	” ”	重 文 ・ 円 通 院 御 霊 屋	1棟	圓 通 院	S60・5・18
7	” ”	重 文 ・ 陽 徳 院 霊 屋	1棟	瑞 巖 寺	H24・7・9
8	” 絵 画	重 文 ・ 観 瀾 亭 障 壁 画	21面	松 島 町	S55・6・6
9	” ”	重文・瑞巖寺本堂障壁画	161面	瑞 巖 寺	S55・6・6
10	” 工芸品	重 文 ・ 雲 版	1面	”	S30・2・2
11	” 書 跡	重文・奥州御島頼賢碑	1基	”	S30・6・22
12	” 彫 刻	重文・木造五大明王像	5躯	”	H7・6・15
13	記念物 名 勝	特別名勝・松 島	—	—	S27・11・22
14	” 史 跡	史 跡 ・ 西 の 浜 貝 塚	—	松 島 町	S49・7・2

II 県 指 定

No.	種 別	名 称	員数	所 有 者	指 定 年 月 日
1	有形文化財 建造物	観 瀾 亭	1棟	松 島 町	S28・3・3
2	” ”	日 吉 山 王 神 社 本 殿	1棟	日吉山王神社	S46・3・2
3	” ”	瑞 巖 寺 総 門	1棟	瑞 巖 寺	S55・8・1
4	” 絵 画	仏 涅槃 図	1幅	”	H2・4・27
5	” ”	釈 迦 説 法 図	1幅	”	H2・4・27
6	” ”	法 身 性 西 像	1幅	”	H2・4・27
7	” ”	蘭 溪 道 隆 像	1幅	”	H2・4・27
8	” ”	明 極 聡 愚 像	1幅	”	H2・4・27
9	” ”	仙台城本丸大広間障壁画（鳳凰図）	1隻	松 島 町	H5・12・24
10	” 工芸品	脇 差	1口	瑞 巖 寺	S51・3・29
11	” ”	梵 鐘	1口	大 仰 寺	S36・4・1

No.	種 別	名 称	員数	所 有 者	指 定 年 月 日
12	有形文化財 工芸品	銅 鐘	1口	瑞 巖 寺	S 37・6・28
13	彫 刻	木 造 伊 達 政 宗 倚 像	1軀	〃	H 2・4・27
14	記念物 天然記念物	瑞巖寺の臥龍梅（紅白）	2本	〃	H 9・5・9

Ⅲ 町 指 定

No.	種 別	名 称	員数	所 有 者	指 定 年 月 日
1	有形文化財 建造物	圓 通 院 山 門	1棟	圓 通 院	S 45・10・1
2	〃	初 原 天 神 社 厨 子	1棟	天 神 社	S 45・10・1
3	〃	陽 徳 院 山 門	1棟	瑞 巖 寺	S 45・10・1
4	〃	圓 通 院 本 堂 大 悲 亭	1棟	圓 通 院	S 47・6・27
5	〃	水 主 町 の 民 家	1棟	瑞 巖 寺	S 47・6・27
6	〃	解 脱 院	1棟	〃	S 47・6・27
7	〃	三 聖 堂	1棟	〃	S 53・7・15
8	〃	富 山 観 音 堂	1棟	大 仰 寺	H 21・8・3
9	〃	富 山 仁 王 門	1棟	〃	H 21・8・3
10	〃	観月楼（附旅籠としての記録類）	1棟	（株）大宮司	H 25・4・24
11	〃	富 山 大 仰 寺 本 堂	1棟	大 仰 寺	H 27・2・1
12	〃 絵 画	松 島 真 景 図	1幅	松 島 町	S 45・10・1
13	〃	伊 達 政 宗 像	1幅	瑞 巖 寺	H 2・4・6
14	〃	伊 達 忠 宗 像	1幅	〃	H 2・4・6
15	〃	伊 達 綱 宗 像	1幅	〃	H 2・4・6
16	〃	伊 達 綱 村 像	1幅	〃	H 2・4・6
17	〃	伊 達 吉 村 像	1幅	〃	H 2・4・6
18	〃	伊 達 宗 村 像	1幅	〃	H 2・4・6
19	〃	伊 達 重 村 像	1幅	〃	H 2・4・6
20	〃	伊 達 斉 村 像	1幅	〃	H 2・4・6
21	〃	伊 達 周 宗 像	1幅	〃	H 2・4・6
22	〃	伊 達 斉 宗 像	1幅	〃	H 2・4・6
23	〃	伊 達 斉 義 像	1幅	〃	H 2・4・6
24	〃	伊 達 斉 邦 像	1幅	〃	H 2・4・6
25	〃	伊 達 光 宗 像	1幅	〃	H 2・4・6
26	〃	天 麟 院 五 郎 八 姫 像	1幅	〃	H 2・4・6

No.	種 別	名 称	員数	所 有 者	指 定 年 月 日
27	有形文化財 絵 画	雲 居 希 膺 像	1幅	瑞 巖 寺	H 2・4・6
28	” ”	洞 水 東 初 像	1幅	”	H 2・4・6
29	” ”	夢 庵 如 幻 像	1幅	”	H 2・4・6
30	” ”	出山釈迦・猪頭和尚・蜆子和尚図	3幅	”	H 2・4・6
31	” ”	白 衣 観 音 図	1幅	”	H 2・4・6
32	” ”	絵 馬	2面	”	H 2・4・6
33	” ”	陽 徳 院 田 村 氏 像	1幅	”	H 2・4・6
34	” ”	大 仰 寺 開 山 洞 水 禅 師 画 像	1幅	大 仰 寺	H 7・9・29
35	” ”	仙 台 領 内 絵 図	1幅	個 人	H 7・9・29
36	” 彫 刻	木 造 聖 観 音 立 像	1軀	瑞 巖 寺	S 45・10・1
37	” ”	聖 観 世 音 菩 薩 坐 像	1軀	圓 通 院	S 47・6・27
38	” ”	釈 迦 如 来 坐 像	1軀	天 麟 院	S 47・6・27
39	” ”	地 蔵 菩 薩 半 迦 像	1軀	瑞 巖 寺	S 47・6・27
40	” ”	陽 徳 院 田 村 氏 像	1軀	”	H 2・4・6
41	” ”	天 麟 院 五 郎 八 姫 像	1軀	”	H 2・4・6
42	” ”	神 馬 像	1軀	日吉山王神社	H 7・9・29
43	” ”	狛 犬 像	2軀	”	H 7・9・29
44	” ”	古 面 (猿 面)	3面	”	H 7・9・29
45	” ”	三 猿 像	3軀	”	H 7・9・29
46	” ”	薬 師 如 来 坐 像	1軀	”	H 7・9・29
47	” ”	地 蔵 菩 薩 立 像	1軀	”	H 7・9・29
48	” ”	法 身 性 西 倚 像	1軀	瑞 巖 寺	H 22・3・29
49	” ”	雲 居 希 膺 倚 像	1軀	”	H 22・3・29
50	” ”	洞 水 東 初 倚 像	1軀	”	H 22・3・29
51	” ”	木造不動明王立像二童子像	3軀	”	H 22・3・29
52	” ”	坂 上 田 村 麻 呂 像	1軀	大 仰 寺	H 25・4・1
53	” ”	伊 達 光 宗 騎 馬 像 及 び 神将形立像・千手観音像	9軀	圓 通 院	H 25・4・1
54	” ”	富 山 観 音 仁 王 像	1対	大 仰 寺	H 26・5・1
55	” ”	虚 空 蔵 菩 薩 坐 像	1軀	”	H 27・2・1
56	” 工 芸 品	殿 鐘	1口	瑞 巖 寺	H 2・4・6

No.	種 別	名 称	員数	所 有 者	指 定 年 月 日
57	有形文化財 工芸品	水 晶 五 輪 仏 舎 利 塔	1基	瑞 巖 寺	H 2 ・ 4 ・ 6
58	” ”	唐 銅 製 多 宝 塔	1基	”	H 2 ・ 4 ・ 6
59	” ”	火 鈴	1口	”	H 2 ・ 4 ・ 6
60	” ”	孔 雀 丸 船 額	1点	”	H 2 ・ 4 ・ 6
61	” ”	禾 目 天 目 茶 碗	1口	”	H 2 ・ 4 ・ 6
62	” ”	赤 楽 茶 碗	1口	”	H 2 ・ 4 ・ 6
63	” ”	御 本 茶 碗	1口	”	H 2 ・ 4 ・ 6
64	” ”	茶 碗	1口	”	H 2 ・ 4 ・ 6
65	” ”	葉 茶 壺	1口	”	H 2 ・ 4 ・ 6
66	” ”	金 欄 付 浅 葱 色 麻 袈 裟	1肩	”	H 2 ・ 4 ・ 6
67	” ”	紫 衣	1領	”	H 2 ・ 4 ・ 6
68	” ”	鉄 如 意	1握	”	H 2 ・ 4 ・ 6
69	” ”	伊 達 家 歴 代 藩 主 位 牌	12基	”	H 2 ・ 4 ・ 6
70	” ”	磯 崎 の 契 約 講 一 式	130点	磯 崎 緑 松 会	H 7 ・ 9 ・ 29
71	” 書跡・典籍・古文書	雲 居 希 膺 墨 跡	27幅	瑞 巖 寺	H 2 ・ 4 ・ 6
72	” ”	往 生 要 歌 板 木 一 組	5枚	”	H 2 ・ 4 ・ 6
73	” ”	松島円福寺寺領同寺用米証状注文外	2幅	”	H 2 ・ 4 ・ 6
74	” ”	伊 達 政 宗 和 歌 懷 紙	1幅	”	H 2 ・ 4 ・ 6
75	” ”	留 守 政 景 所 役 免 除 状	1幅	”	H 2 ・ 4 ・ 6
76	” ”	天 台 由 緒 記	1卷	”	H 2 ・ 4 ・ 6
77	” ”	龍 山 三 開 祖 伝	1冊	”	H 2 ・ 4 ・ 6
78	” ”	松 島 諸 勝 記	1冊	”	H 2 ・ 4 ・ 6
79	” ”	慈 光 不 昧 禅 師 号 綸 旨	1幅	”	H 2 ・ 4 ・ 6
80	” ”	大 悲 円 満 国 師 号 宸 翰	1幅	”	H 2 ・ 4 ・ 6
81	” ”	御 船 歌 集	1冊	”	H 7 ・ 9 ・ 29
82	” ”	松 島 御 仮 屋 守 文 書	3冊	”	H10・12・25
83	記念物 史 跡	文 永 紀 年 の 供 養 塔	1基	不 詳	H 7 ・ 9 ・ 29
84	” ”	覚満禅師墓碑「附・防火石」	1基	圓 通 院	H 7 ・ 9 ・ 29
85	” ”	圓 通 院 洞 窟	7基	”	S47・6・27
86	” ”	天 麟 院 洞 窟	5基	天 麟 院	S47・6・27
87	” ”	松 島 明 神 跡	一	紫 神 社	S53・7・15

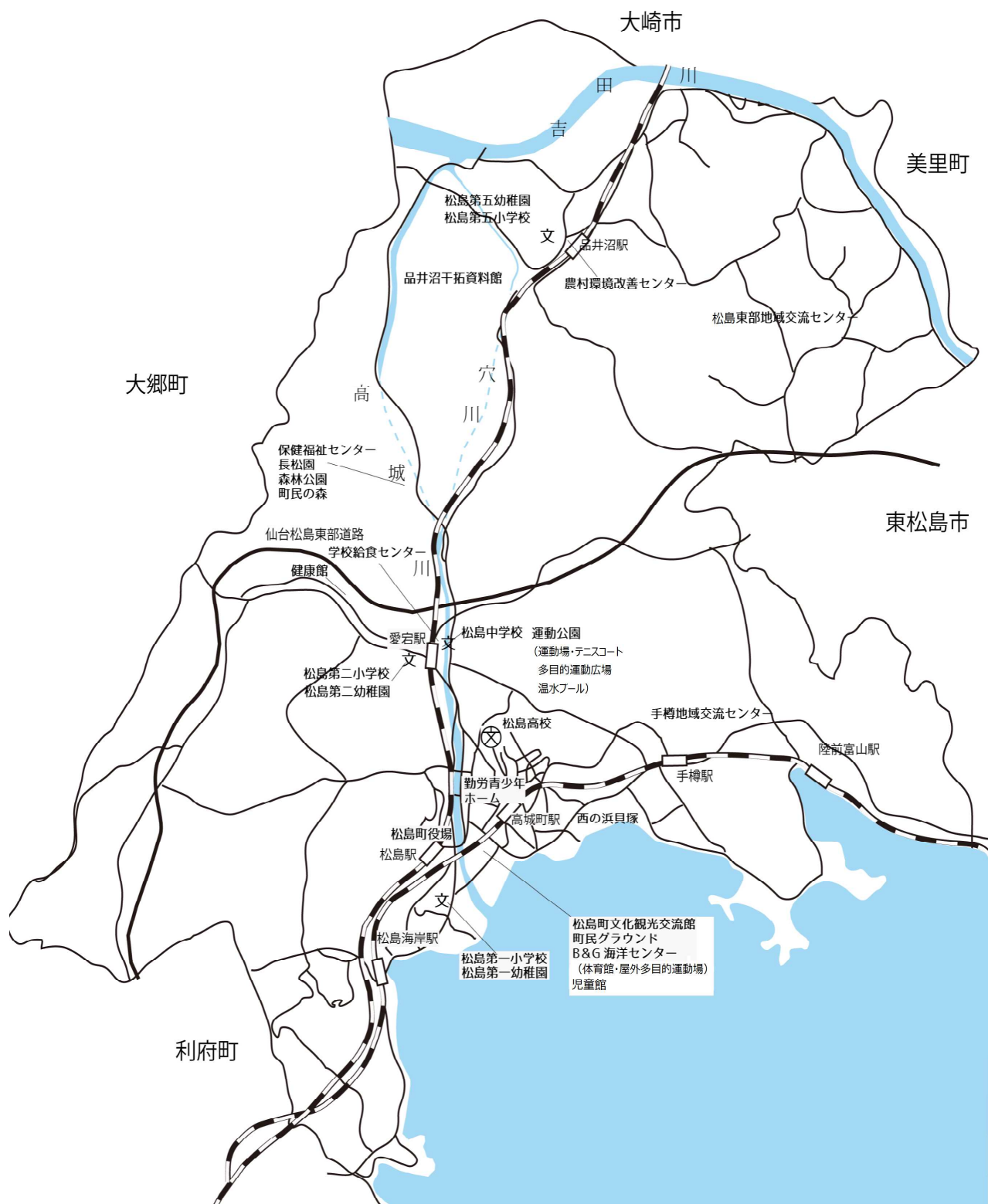
No.	種 別	名 称	員数	所 有 者	指 定 年 月 日
88	記念物 史 跡	品 井 沼 潜 穴	—	松 島 町	S53・7・15
89	” ”	西 行 戻 し の 松	—	”	H29・3・1
90 ～93	” 天然記念物	瑞 巖 寺 老 杉	4本	瑞 巖 寺	S45・12・1
94	” ”	陽 徳 院 ・ 高 野 ま き	1本	”	S45・12・1
95	” ”	天 麟 院 ・ は り も み	1本	天 麟 院	S45・12・1
96	” ”	富 山 ・ 杉	1本	大 仰 寺	S45・12・1
97	” ”	扇 谷 ・ 混 合 雑 木 林	3.7a	宮 城 県	S45・12・1
98	” ”	い ぶ き び ゃ く し ん	1本	個 人	S45・12・1
99	” ”	蒜 沢 阿 弥 陀 堂 境 内 ・ 銀 杏	1本	個 人	S45・12・1
100	” ”	松 島 せ っ こ く	—	瑞 巖 寺 他	H7・9・29



富山大仰寺本堂（町指定）

生涯學習施設

1 松島町の生涯学習関係施設位置図



2 生涯学習施設の概況

松島町文化観光交流館

平成25年9月開館（平成27年10月より指定管理施設として運営）

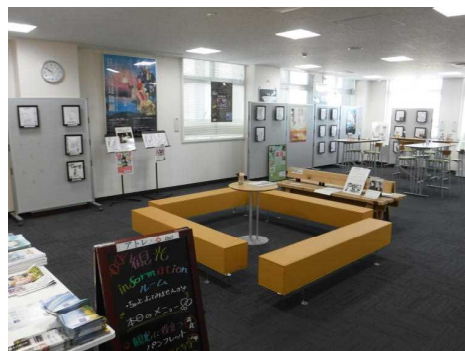


施設名称		内容・利用時間	利用方法・内容・使用料他	休館日
文化観光交流館 (アトレ・るHall) (指定管理者： (株)BB1) 磯崎字浜1番地2 TEL 022-355-0155 中央公民館 TEL 022-353-3030	中央公民館併設	和室（第1・2） 会議室（第1・2） 調理室 研修室 リハーサル室 展示コーナー 講座室（第1・2） クラブ室 楽屋（1・2） 大ホール 利用時間 ・午前9時～午後9時 ※大ホールは午前9時～午後10時	・利用の申請は、使用したい日の3ヶ月前の月初日から7日前まで受け付けします。 ・社会教育団体や芸術文化団体等が本来の目的に利用する場合は使用料が免除されます。 ・入場者から入場料等の料金を収める場合や営利を目的とした利用については、使用料が割増となります。	月曜日（国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは当該休日の翌日） 年末年始 12月29日から 翌年1月3日まで

観光インフォメーションルーム→



大ホール



会議室→

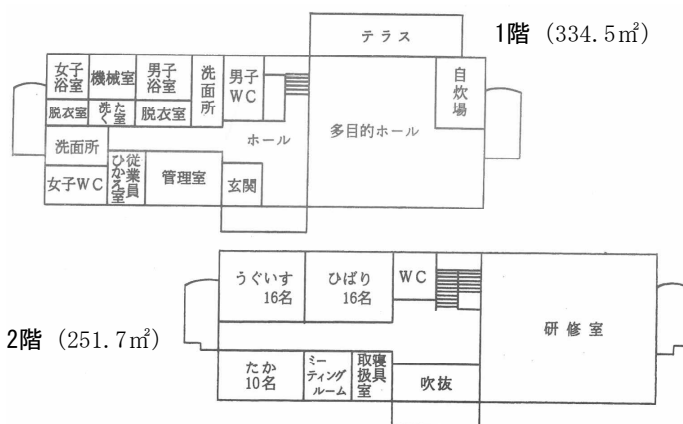
松島町野外活動センター ＜ 町 民 の 森 ＞

平成6年6月開所（平成18年4月より指定管理施設として運営）



←センターロッジ

センターロッジ平面図



→炊事棟・キャンプ場



←キャンプファイアー広場

施設名称	内容・利用時間	利用方法・内容・使用料他	休館日
野外活動センター（町民の森） （指定管理者：NPO法人ウイザス）	・センターロッジ 586㎡ 宿泊室 4室 45人 研修室 120㎡ 多目的ホール 90㎡ 炊事場 30㎡	・ロッジは15人以上の社会教育団体等が利用できます。 ・利用の申請期間は利用したい日の3ヶ月前から7日前までです。 ・暖房器具、寝具クリーニング代他、一部費用は実費相当分を負担してください。	月曜日（国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは当該休日の翌日）
根廻字上山王6番地の1 TEL 022-353-3910	・キャンプ場 （大人110人以上泊可能） キャンプサイト 持ち込み用テントサイト 18張り分 ・炊事棟 53㎡ （かまど10戸、流し、テーブル） ファイアーサークル1 201㎡	・利用者の計画により自炊ができます。この場合炊飯用具は貸与致します。 ・起床、入浴、就寝時間その他は施設のきまりにしたがってください。 ・駐車場（2,560㎡）は普通車100台程度収容可能です。 ・利用手続きは、野外活動センターへ（TEL022-353-3910）	年末年始 12月29日から 翌年1月3日まで

松島運動公園

(平成23年4月より指定管理施設として運営)

松島温水プール(美遊)

(平成23年4月より指定管理施設として運営)



多目的運動広場



野球場



25m温水プール

施設名称	内容・利用時間	利用方法・内容	休館日
松島運動公園 (指定管理者： NP0法人マリ ソル松島ス ーツクラブ) 高城字動伝一 34番地の1 TEL 022-781-6320 022-781-6321	管理事務所(平成9年2月開館) 鉄筋コンクリート造(延べ面積) 311.50㎡ 木造平屋建 140㎡ ・レストスペースホール ・ミーティングルーム ・更衣室 男子/女子(コイン式シャワー付)	・利用者は、「利用許可申請書(※)」を提出してください。 受付は利用したい日の2ヶ月前から行っています。(電話で仮予約可) (※)利用許可申請書は、マリソルHPからダウンロードできます。	年末年始 12月28日から 翌年1月4日まで
	野球場(平成5年4月開園) 午前9時～日没まで ・両翼 91m ・センター 119m ・収容人員 1,300人 ・面積 12,500㎡	・利用者は、「利用許可申請書」を提出して下さい。 受付は利用したい日の2ヶ月前から行っています。(電話で仮予約可) ・天候条件及び施設メンテナンスにより利用を制限することがあります。	
	多目的運動広場(平成8年6月開園) 午前9時～日没まで ・人工芝(全面)・・・平成26年改修 サッカー、フットサル等の試合が可能 ・盛土スタンド 芝スタンド 収容人員 520人程度 ・山側スタンド 山側の斜面を利用した芝スタンド ・面積 19,500㎡	・利用者は、「利用許可申請書」を提出して下さい。 受付は利用したい日の2ヶ月前から行っています。(電話で仮予約可) ・天候条件及び施設メンテナンスにより利用を制限することがあります。	
	テニスコート(平成10年10月開園) 午前9時～午後9時 (受付/午前8時半から午後5時まで) ・砂入り人工芝 4コート ・夜間照明 2コート ・面積 2,728㎡	・当日利用は、午前9時から午後9時までとし、午後5時から午後9時までの利用については、午後5時までの予約が必要となります。天候条件により利用を制限することもあります。	
松島温水プール (指定管理者： セントラルス ーツ株式会社) 高城字動伝一 34番地の1 TEL 022-353-8525 FAX 022-353-8526	温水プール(平成19年10月6日開館) 25mスロープ付プール 水深1.05m～1.25m 規格縦25m×13.01m 歩行用流水プール 水深1.0m 規格 一周39.71m×幅2m 子供プール 水深0.05m～0.55m 面積62.43㎡ トレーニングジム 面積 96㎡ シルバートレーニングルーム 面積 96㎡ スタジオ 面積 125.23㎡	○開館時間 午前10時～午後9時 (但し7、8月は午前9時～午後9時) ○利用方法 個人利用者は、受付で利用手続きを行ってから、入場して下さい。プールコース貸切やスタジオを利用する際は、受付で利用状況を確認のうえ、事前に利用手続きを行って下さい。 ○トレーニングジム利用方法 利用する場合は、事前にトレーニング講習会を受講し、以後、受付で利用手続きを行ったうえで利用できます。なお利用できるのは、高校生以上です。 ○入場の際して おむつの取れていない乳幼児のプール利用はできません。 未就学児がプールを利用する際には、保護者の付添が必要です。 ※中学生以下の子どもだけで利用できる時間は午後5時までです。 (7、8月のみ午後6時まで)	毎週月曜日(月曜日が祝日の際は、開館し次の日が休館となります) 年末年始 12月28日から 翌年1月4日まで その他 プールメンテナ ンス期間

B & G 海 洋 セ ン タ ー

(平成30年4月より指定管理施設として運営)



施 設 名 称		内 容 ・ 利 用 時 間	利 用 方 法 ・ 内 容	休 館 日
B&G海洋センター (指定管理者： NPO法人マリソル 松島スポーツクラ ブ) 高城字浜1番地 の1 TEL 022-353-3688 FAX 022-353-3713	体育館 (昭和58年 5月開館)	・ 体育館 726㎡ ・ 会議室 63㎡ ・ 午前9時～午後9時	・ 毎月第3日曜日は「健康づくりの日」として無料で利用できます。 ・ 原則、毎週土曜日は小・中学生無料開放実施しています。 ・ 利用の詳細については、お問い合わせください。 ・ 体育館では、卓球・バレーボール・バウンドテニス・ミニバスケットボール・バドミントン等が楽しめ、必要器具・用具も利用できます。 ・ 屋外多目的運動場ではゲートボールや雨天時等における軽スポーツ場として利用できます。	年末年始 12月29日から 翌年1月3日まで
	屋 外 多目的 運動場 (平成27年 3月開所)	・ 屋根付コート 1面 ・ 屋根無しコート 1面 ・ 午前9時～午後9時		

松 島 町 民 グ ラ ウ ン ド

昭和56年9月開所

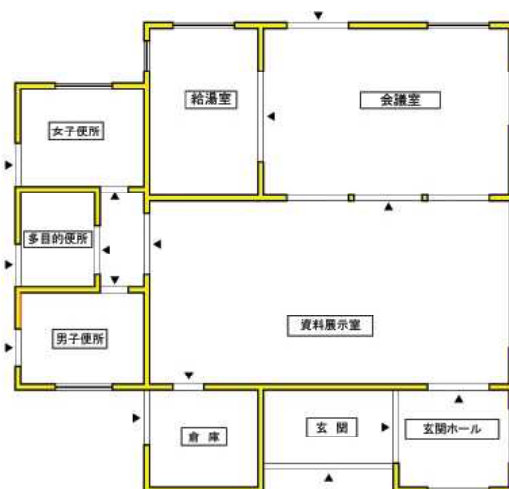
(平成30年4月より指定管理施設として運営)



施 設 名 称	内 容 ・ 利 用 時 間	利 用 方 法 ・ 内 容	休 日
松島町民 グラウンド (指定管理者： NPO法人マリソル 松島スポーツクラ ブ) 磯崎字浜地内 TEL 022-353-3688 FAX 022-353-3713	面積／14,178㎡ 照明(夜間)／8基 ・ 午前 (午前6時～正午) ・ 午後 (正午～午後5時) ・ 夜間 (午後5時～午後9時) ・ 全日 (午前6時～午後5時)	・ 利用の申請は利用しようとする3ヵ月前から7日前まで申請書を提出していただきます。	国民の祝日に関する法律に規定する休日の翌日 年末年始 12月29日から 翌年1月3日まで

品井沼干拓資料館

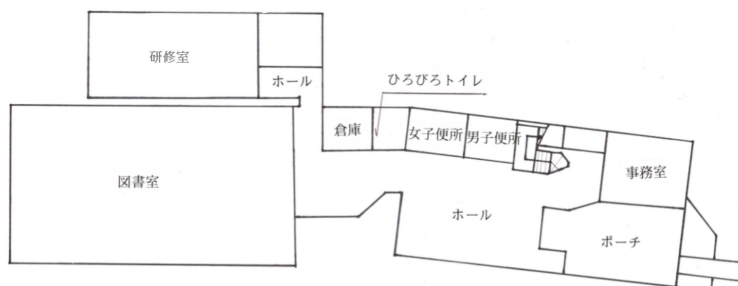
平成20年4月開館



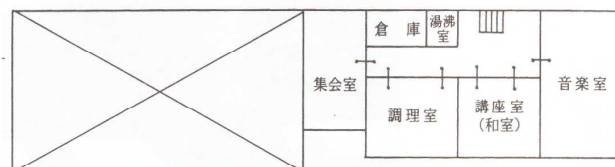
施設名称	内容・利用時間	利用方法・内容・料金他	休館日
品井沼干拓資料館 幡谷字明神52番地1 □お問い合わせ 教育課生涯学習班 TEL 022-354-5714	□資料館利用時間 午前9時～午後9時 ・会議室 33㎡ ・資料展示室 54㎡ ・給湯室 ・男・女トイレ ・多目的トイレ	□利用するには 教育委員会に使用したい日時をご連絡いただき、品井沼干拓資料館利用許可申請書を提出していただきます。 □利用料金等 資料館の入館料は、無料です。ただし、会議室を利用する場合は、次の料金を徴収します。 ・利用時間金額 最初の2時間まで400円 (超過時間1時間ごとに200円) ※備考 1 利用時間が上記の時間に満たない場合においても、利用料金の減額は行いません。 2 利用に係る暖房料等の実費相当分の料金については、次に掲げる額を徴収します。 ・暖房料1時間当たり 100円 ・ガス代1回利用につき 100円 ※減免については教育委員会へお問い合わせください。	年末年始 12月29日から 翌年1月3日まで



1階平面図



2階平面図



施設名称	内容・利用時間	利用方法・内容	休館日																						
松島町勤労 青少年ホーム 高城字町71番地 TEL 022-354-4036	研修室 70㎡ 集会室 58㎡ 講座室（和室） 24㎡ 音楽室 51㎡ 調理室 38㎡ 火曜日～日曜日 午前9時～午後9時	・利用したい方は、使用申請書を提出してください。 （但し有料） 【図書室】 ・松島町図書室利用証の申込み手続きをしてください。 免許証等、身元を証明できるものを提出してください。 小学生以下は、保護者同伴のうえ、手続きしてください。 1人5冊まで、2週間貸出となります。	毎週月曜日 （ただし、その日が国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは、当該休日以降の直近の休日でない日とする） 年末年始 12月29日から翌年1月3日まで																						
	図書室 216㎡ 火曜日～金曜日 午前10時～午後6時 土曜日、日曜日、祝日 午前10時～午後4時	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>午前 9時～13時</th><th>午後 13時～17時</th><th>夜間 17時～21時</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修室</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>集会室</td><td>600円</td><td>600円</td><td>800円</td></tr> <tr> <td>講座室（和室）</td><td>（町外）</td><td>（町外）</td><td>（町外）</td></tr> <tr> <td>音楽室</td><td>1,200円）</td><td>1,200円）</td><td>1,600円）</td></tr> <tr> <td>調理室</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> ※暖房及びガスの利用は実費徴収 ※町外使用者は町内料金の2倍		区分	午前 9時～13時	午後 13時～17時	夜間 17時～21時	研修室				集会室	600円	600円	800円	講座室（和室）	（町外）	（町外）	（町外）	音楽室	1,200円）	1,200円）	1,600円）	調理室	
区分	午前 9時～13時	午後 13時～17時	夜間 17時～21時																						
研修室																									
集会室	600円	600円	800円																						
講座室（和室）	（町外）	（町外）	（町外）																						
音楽室	1,200円）	1,200円）	1,600円）																						
調理室																									

手樽地域交流センター

平成21年8月開所



施設名称	内容・利用時間	利用方法・内容	休館日
手樽地域交流センター 手樽字釜地前1番地1 TEL 022-354-2041	○センター施設 ・研修室1 ・研修室3 ・図書室 ・調理室 ○施設利用時間（センター施設） 午前9時～午後9時 （屋外運動場） 午前5時～午後7時	○利用方法 利用申請については使用希望日時を松島町文化観光交流館に連絡し、利用許可申請書を提出してください。 ○利用料金（センター施設） 午前9時～午後5時 1時間150円 午後5時～午後9時 1時間200円 ※暖房料等実費分徴収 （屋外運動場） 利用料 1時間 町内の者 無料 町外の者 700円 ※減免については中央公民館までお問い合わせください。 ○利用方法等については教育課学校教育班までお問い合わせください。	年末年始 12月29日から 翌年1月3日まで
	○松島子どもの心のケアハウス 「もみの木教室」		

松島東部地域交流センター

平成21年8月開所



施設名称	内容・利用時間	利用方法・内容	休館日																						
松島東部地域交流センター 竹谷字蔦ヶ沢7番地2	○センター施設 ・研修室1 ・研修室3 ・ミーティングルーム ・多目的交流室 ・調理室 ○屋内運動場 ・競技場 ・ミーティングルーム ○屋外運動場 ○施設利用時間（センター施設・屋内運動場） 午前9時～午後9時 （屋外運動場） 午前5時～午後7時	○利用方法 利用申請については使用希望日時を松島町文化観光交流館に連絡し、利用許可申請書を提出してください。 ○利用料金（センター施設） 午前9時～午後5時 1時間150円 午後5時～午後9時 1時間200円 ※暖房料等実費分徴収 ○利用料金（屋内運動場） <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">室 名</th><th colspan="2">利用時間・利用料</th></tr> <tr> <th colspan="2"></th><th>午前9時～午後5時</th><th>午後5時～午後9時</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">競技場</td><td>スポーツで利用</td><td>1時間 600円</td><td>1時間 900円</td></tr> <tr> <td>その他の催しで利用</td><td>1時間 3,500円</td><td>1時間 5,600円</td></tr> <tr> <td>営利目的で利用</td><td>1時間 8,800円</td><td>1時間 14,100円</td></tr> <tr> <td colspan="2">ミーティングルーム</td><td>1時間 150円</td><td>1時間 200円</td></tr> </tbody> </table> ○利用料金（屋外運動場） 利用時間 午前5時～午後7時 利用料 1時間 町内の者 無料 町外の者 700円 ※減免については中央公民館までお問い合わせください。	室 名		利用時間・利用料				午前9時～午後5時	午後5時～午後9時	競技場	スポーツで利用	1時間 600円	1時間 900円	その他の催しで利用	1時間 3,500円	1時間 5,600円	営利目的で利用	1時間 8,800円	1時間 14,100円	ミーティングルーム		1時間 150円	1時間 200円	年末年始 12月29日から 翌年1月3日まで
室 名		利用時間・利用料																							
		午前9時～午後5時	午後5時～午後9時																						
競技場	スポーツで利用	1時間 600円	1時間 900円																						
	その他の催しで利用	1時間 3,500円	1時間 5,600円																						
	営利目的で利用	1時間 8,800円	1時間 14,100円																						
ミーティングルーム		1時間 150円	1時間 200円																						

3 令和元年度生涯学習施設の利用状況

(1) 月別利用状況(全体)

(単位：人)

施設 種別	文化観光 交 流 館	地域交流センター		勤労青少年ホーム			運動公園		B&G海洋センター		町民グラ ウ ン ド	野外活動センター		品 井 沼 干拓資料館
		手樽地区	東部地区	集会室等	図書室	ITルーム	公園施設 (外)	温水プール	体育館	その他		ロッジ	その他	
4	2,422	84	72	491	899	10	3,885	3,166	805	533	1,093	17	1,807	2
5	1,733	51	84	434	924	9	3,901	3,254	928	382	1,366	0	2,308	20
6	2,176	85	103	421	908	22	3,576	3,793	1,245	690	1,418	0	676	3
7	3,221	472	96	454	1,014	8	4,555	4,896	1,206	495	1,507	243	1,890	19
8	2,931	395	449	306	1,081	34	4,844	5,098	853	449	512	336	2,461	9
9	2,362	112	374	353	866	11	3,600	3,985	1,362	534	1,226	0	1,457	0
10	16,335	595	118	461	807	6	3,495	2,566	3,008	5,636	5,755	56	1,901	281
11	5,059	99	172	437	1,021	76	2,797	3,347	993	486	873	146	1,644	93
12	2,732	250	96	449	894	53	2,633	2,969	754	248	715	0	278	56
1	1,800	20	109	358	832	3	1,878	3,102	786	263	0	0	230	8
2	2,650	106	8	416	917	2	2,038	3,638	787	469	701	0	374	18
3	1,618	52	0	11	98	1	114	151	70	6	25	0	668	3
計	45,039	2,321	1,681	4,591	10,261	235	37,316	39,965	12,797	10,191	15,191	798	15,694	512

(2) 種別ごと利用状況

(単位：人)

施設 種別	文化観光 交 流 館	地域交流センター		勤労青少年ホーム			運動公園		B&G海洋センター		町民グラ ウ ン ド	野外活動センター		品 井 沼 干拓資料館
		手樽地区	東部地区	集会室等	図書室	ITルーム	公園施設 (外)	温水プール	体育館	その他		ロッジ	その他	
一般利用	5,476	17	365	0	9,911	120	1,288	11,406	2,430	0	0	60	3,971	184
社会教育団体	3,750	2,280	1,192	4,591	0	0	19,263	4,717	5,899	4,784	8,624	0	229	0
主催事業	16,385	24	55	0	0	115	0	18,930	1,813	166	798	0	0	0
町 外	19,428	0	69	0	350	0	16,765	4,912	2,655	5,241	5,769	738	11,494	328
計	45,039	2,321	1,681	4,591	10,261	235	37,316	39,965	12,797	10,191	15,191	798	15,694	512

教育関係各種委員会及び教育団体等名簿（◎は委員長，○は副委員長）

1 奨学金貸与事業運営委員

（任期：令和2年4月1日～令和3年3月31日）

氏 名	備考（役職・経歴等）
◎ 濱 田 敏 幸	行政区長・行政相談委員
○ 桔 梗 元 子	元学校関係者・人権擁護委員
佐々木 武 弘	松島高等学校校長
高 橋 琢 哉	松島中学校校長
片 倉 弘 美	学識経験者・元小学校教諭

2 学校（園）医・学校薬剤師

（任期：令和2年4月1日現在）

氏 名	備考（所属等）
丹 野 尚	内科医・松島病院
丹 野 治 郎	内科医・松島病院
小 松 亮	内科医・松島海岸診療所
竹 中 紗 代	内科医・小野寺記念たけなな医院
井 上 博 之	歯科医・松島海岸診療所
西 村 真	歯科医・西村歯科医院
大 塚 敏	歯科医・松島中央歯科医院
鈴 木 健 史	眼科医・鈴木眼科医院
鈴 木 道 子	眼科医・仙塩利府病院
安 井 朝 輝	眼科医・やすい眼科
大 浪 英 之	眼科医・おおなみ眼科クリニック
小 林 信 一	耳鼻科医
文 屋 三 雄	薬剤師
石 田 真 也	薬剤師・カメイ調剤薬局松島店
高 橋 克 宏	薬剤師・くるみ薬局

3 学校給食センター運営審議会委員

（任期：令和2年5月1日～令和3年4月30日）

氏 名	備考（役職等）
永 沼 昌 一	松島第一小学校校長
高 橋 琢 哉	松島中学校校長
林 英由岐	松島第一小学校PTA会長
小 関 弓 子	松島第二小学校PTA会長
後 田 克	松島第五小学校PTA会長
増 田 ゆかり	松島中学校PTA会長
文 屋 三 雄	学校薬剤師
土 井 正 雄	宮城県漁協松島支所運営副委員長
福 田 正 朗	利府松島商工会会長
丹 野 信 男	ふるさと食彩給食推進委員会会長

4 社会教育委員

（任期：令和元年5月1日～令和3年4月30日）

氏 名	備考（役職・経歴等）
◎ 志 賀 寧	松島観光協会会長
○ 藤 澤 美 子	県青少年育成推進指導員・県青少年健全育成松島町民会議副会長
永 沼 昌 一	松島第一小学校校長
高 橋 琢 哉	松島中学校校長
佐々木 武 弘	松島高等学校校長
村 山 進	県サッカー協会事務局・松島フットボールセンター長
千 葉 伸 一	元松島観光協会常務理事
稲 富 慶 雲	大仰寺住職・瑞巖寺総務兼管理課長
岸 恵美子	いちょうの会役員
伊 藤 淳 美	元小中学校PTA会長・町子連副会長
郡 山 宗 浩	元松島中学校PTA会長・青少年健全育成松島町民会議副会長
片 倉 誠之助	「松の実」施設長・行政区長

5 文化財保護委員

（任期：令和2年4月1日～令和5年3月31日）

氏 名	備考（役職・経歴等）
今 野 勝 正	松島ボランティアガイド
新 野 一 浩	瑞巖寺学芸課長
齋 藤 文 雄	下竹谷分館長、和合太鼓代表
高 橋 守 克	元教員、元塩竈市文化財審議委員
白 崎 恵 介	宮城県多賀城跡調査研究所上席主任研究員
佐々木 武 弘	松島高等学校校長

6 スポーツ推進委員

（任期：令和元年5月1日～令和3年4月30日）

氏 名	備考（役職・経歴等）
◎ 磯 田 昭 平	
○ 伊 藤 栄 子	
赤 間 三 男	
小 関 弘 子	
丹 野 重 信	
後 藤 賢 一	
千 葉 真由美	
佐 藤 州	
青 木 崇	
鈴 木 由美子	

7 分館及び分館役員

(任期：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

分 館	職 名	氏 名	分 館	職 名	氏 名
松 島	分 館 長	戸 田 克 義	下 竹 谷	分 館 長	齋 藤 文 雄
	主 事	阿 部 清 弥		主 事	菊 地 正 美
	会 計	蜂 谷 文 男		会 計	熊 谷 正 勝
高 城	分 館 長	佐 藤 孝 一	上 竹 谷	分 館 長	阿 部 喜 明
	主 事	岩 本 勝 治		主 事	太 田 雄 悦
	会 計	佐々木 昭一郎		会 計	高 橋 喜 一
本 郷	分 館 長	高 橋 富 雄	幡 谷	分 館 長	稲 垣 雅 雄
	主 事	北 條 久 也		主 事	遠 藤 重 勝
	会 計	今 野 健 治		会 計	藤 澤 美 子
磯 崎	分 館 長	内 海 裕	根 廻	分 館 長	小 島 彰
	主 事	角 田 友 幸		主 事	阿 部 良 春
	会 計	岡 田 光 弘		会 計	鈴 木 美智子
手 樽	分 館 長	男 澤 裕	初 原	分 館 長	安 部 弘 市
	主 事	虎 川 忠		主 事	菊 池 哲 也
	会 計	高 橋 賢 一		会 計	赤 間 崇 光
北 小 泉	分 館 長	櫻 井 守	桜 渡 戸	分 館 長	佐 藤 親 喜
	主 事	村 山 浩 治		主 事	三 浦 幸 悦
	会 計	佐々木 貴 司		会 計	大 山 房 男

8 青少年健全育成推進員

(令和2年4月1日現在)

区	氏 名	区	氏 名
松 島	佐々木 みゆき	下 竹 谷	齋 藤 文 雄
	佐 藤 キヨ子		山 崎 友 美
	新 田 晴 子		岸 美絵子
	手代木 政 広		
	宮 田 恵美子		
高 城	岩 本 勝 治	上 竹 谷	高 橋 仁 美
	佐々木 昭一郎		阿 部 喜 明
	佐 藤 浩 樹		
	渡 辺 浩 行		
	石 上 隆 男		
本 郷	高 橋 茂	幡 谷	遠 藤 重 勝
	櫻 井 信 吾		武 山 京 子
	庄 司 智 是		櫻 井 博 志
磯 崎	角 田 友 幸	根 廻	阿 部 良 春
	安 藤 正 純		小 島 典 子
	今 野 成 男		
	赤 間 哲 夫		
	岡 田 光 弘		
手 樽	男 澤 裕	初 原	安 部 弘 市
	土 井 紗 織		佐 藤 英 樹
	櫻 井 玲 子		
北 小 泉	村 山 浩 治	桜 渡 戸	小 畑 喜美枝
	村 山 敏 子		郡 山 宗 浩

9 松島町の社会教育・スポーツ団体等一覧

(令和2年4月1日現在)

No.	団 体 名	代表者名	事務局氏名又は所在地
1	松島町PTA連合会	跡 部 友 子	松島第五小学校
2	松島町女性団体連絡協議会	澁 谷 美知子	教育委員会生涯学習班
3	松島町婦人会	櫻 井 貞 子	同左
4	松島町子ども会育成連合会	早 坂 忠 継	佐 藤 淳
5	青少年健全育成松島町民会議	遠 藤 重 勝	教育委員会生涯学習班
6	松島町老人クラブ連合会	大 友 昌	保健福祉センター内
7	松島町芸術文化協会	赤 間 洵	砂 金 雅 晴
8	品井沼郷土芸能保存会	菅 野 正 己	同左
9	松島町ジュニア・リーダーサークル「紙ひこうき」	角 田 愛 実	教育委員会生涯学習班
10	松島町体育協会	内 海 勝 洋	遊 佐 芳 博
11	松島町少年野球連盟	斎 藤 一 明	佐々木 愛 華
12	松島町ソフトボール協会	阿 部 幸 夫	木 村 一
13	松島町スポーツ少年団本部	赤 間 三 男	内 海 昭
14	松島町早起き野球協会	内 海 勝 洋	鈴 木 浩 幸
15	松島町ゲートボール協会	土 井 徳 夫	樋 口 博 樹
16	松島町バドミントン協会	竹 谷 れい子	櫻 井 玲 子
17	NPO法人マリソル松島スポーツクラブ	林 裕 志	櫻 井 光 之
18	松島町水泳協会	佐 野 浩 之	小 沢 幸 子
19	松島欽走会	井 上 博 之	佐々木 千代志
20	松島町剣道連盟	大宮司 昭 倫	櫻 井 博 樹
21	松島町卓球協会	蜂 谷 文 男	松 樹 栄 蔵
22	松島シニア野球連盟	遠 藤 隆 男	磯 田 昭 平
23	松島バウンドテニス協会	木 村 春 夫	佐々木 啓 子
24	松島テニス協会	高 沢 善 男	櫻 井 芳 隆
25	松島町グラウンド・ゴルフ協会	伊 藤 栄 子	川 邊 進
26	松島町ベタンク協会	白 鳥 征 幸	角 田 定 雄
27	松島空手道場	小 野 正 晃	大 谷 秀 勝

10 自主学習グループ

(中央公民館・B&G海洋センター・勤労青少年ホームが主催した各種教室の修了者の皆さんが活躍しているグループです。)

○文化観光交流館(中央公民館)関係

(令和2年4月1日現在)

No.	サークル(団体) 名	活動内容	代表者名
1	コール渚	コ ー ラ ス	鈴 木 とき子
2	松島絵画教室	絵 画	松 谷 光 子
3	グループエリカ	ボ ラ ン テ ィ ア	永 山 松 子
4	編物愛好会	手 編 み	佐々木 敏 子
5	松島五大堂太鼓の会	太 鼓	千 葉 忠 夫
6	松島ソーシャルダンス	社 交 ダ ン ス	佐 藤 良 子
7	実用書道愛好会	書 道	岩 渕 泰 子
8	七宝焼たんぽぽの会	七 宝 焼	内 海 かつ子
9	おたまじゃくし	コ ー ラ ス	庄 司 壽 子
10	囲碁愛好会	囲 碁	村 上 修
11	松島町善意通訳者の会	通 訳	相 澤 多恵子
12	岬俳句会	俳 句	鈴 木 とき子
13	墨を楽しむ会	水 墨 画	加 藤 八重子
14	宮城岳風会松島教場	詩 吟	高 橋 かつみ
15	フォークダンス愛好会	フ ォ ー ク ダ ン ス	千 葉 康 代
16	松島日本語教室	日 本 語 教 室	林 京
17	お花を楽しむ会	フ ラ ワ ー ア レ ン ジ	石 川 ふみ子
18	ヨーガ愛好会	ヨ ー ガ	鈴 木 とき子
19	オハナ松島	フ ラ ダ ン ス	小 関 弘 子
20	フォークダンス赤い靴	フ ォ ー ク ダ ン ス	赤 間 厚 子
21	おくの細道松島海道	奥の細道と郷土史	京 野 英 一

○勤労青少年ホーム関係

(令和2年4月1日現在)

No.	サークル（団体）名	活動内容	代表者名
1	三味線愛好会 民謡萩の会	民謡の練習	佐藤辰巳
2	松島マリンギターアンサンブル	ギターの練習	高橋きよ枝
3	太極拳夢クラブ	太極拳	千葉桂子
4	松島押花教室	押花教室	千葉宮子
5	才能教育研究会松島教室	バイオリン教室	鈴木大二郎
6	カツヨシ勤労青少年ホーム教室	歌謡教室	渡辺ケイ子
7	着付け教室	着付け教室	長岡寿美子
8	おはなしころころ	読み聞かせ	佐藤雅恵
9	健康サークル	健康体操	佐々木かよ
10	スマイルライフヨガ	ヨガ	尾形華香
11	オカリナサークル	オカリナ	菅野妙子
12	アートフルいこい	健康セミナー	櫻井静江
13	大正琴教室	大正琴	今泉正子
14	菅原智琴教室	大正琴	三浦ナホ子
15	池防京極社中	華道	遠藤幸恵
16	ブリコラージュ	マープルアート	水間久美
17	おはなしあつぷる	読み聞かせ	桔梗元子
18	山野流着装教室	着付け教室	小泉貞子

○B&G海洋センター関係

(令和2年4月1日現在)

No.	サークル（団体）名	活動内容	代表者名
1	バドミントン同好会	バドミントン	櫻井君子
2	松島フェニックス	バドミントン	竹谷れい子
3	バウンドテニス愛好会	バウンドテニス	京野美奈子
4	松島卓球愛好会	卓球	千田茂雄
5	バドクラブ	バドルテニス	佐々木啓子
6	松島バドミントンクラブ	バドミントン	横田晴輝
7	松島あおばクラブ	バレーボール	金澤博子
8	松島町卓球協会	卓球	蜂谷文男
9	バドミントン愛好会	バドミントン	宮内純
10	PPC・きらら	卓球	千田茂雄
11	健康卓球	卓球	千坂喜一
12	なかよし会	バドミントン	赤間敦子
13	野蒜クラブ	バドミントン他	尾形百合子
14	松島BTチーム	バウンドテニス	木村春夫
15	松島バドミントンクラブ少年の部	バドミントン	相澤正史
16	moca	バレーボール	白瀬陽子
17	スマップ	バドミントン	高橋よしえ
18	松島アトム体操クラブ	体操	青沼幸彦
19	エアロビクスサークルらん	エアロビクス	遊佐洋子
20	健康太極拳愛好会	太極拳	名雪洋子
21	日本3B体操協会	健康体操	佐藤多嘉子
22	フレンドクラブ	軽運動	桜井幸子
23	松島ゲートボール協会高城支部	ゲートボール	丹野タキ子
24	松島町役場卓球部	卓球	長田大知
25	松島町ベタンク協会	ベタンク	白鳥征幸
26	マリソル松島太極拳教室	太極拳	内海昭

令和 2 年度 松島町の教育

発行：令和 2 年 6 月発行

編集：松島町教育委員会

〒 9 8 1 - 0 2 1 5

松島町高城字歸命院下一 1 9 番地の 1

TEL 022-354-5713 FAX 022-354-3140

E-mail kyouiku@town.matsushima.miyagi.jp

URL <http://matsushima.ed.jp>